


Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター
全国共通電話番号  0570-01-9000 (商品該当番号: 71)

受付時間: 平日9:00 ~ 20:00
土・日・祝日10:00 ~ 17:00 (1月1日 ~ 1月3日を除く)

お電話がつながりましたら、音声ガイダンスに沿って、商品該当番号<71>または「デジタルカメラ」とお話しください。

全国64ヶ所の最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。自動車電話・PHSをご利用の方、海外からご利用の方は、043-211-9556をご利用ください。

※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口におつなぎいたします。

※ 音声応答システム、受付時間、該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 消耗品はご購入いただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売(株)販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

修理サービスご相談窓口

同梱の「修理サービスご相談窓口」(別紙)でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開いています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
<http://canon.jp/bebit/>

キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報
<http://canon.jp/dc/>

キヤノン販売株式会社 サポート
<http://canon.jp/support/>

CANON IMAGE GATEWAY
<http://www.imagegateway.net/>

CDI-J098-010 XXXXXXXX © 2003 CANON INC. PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot A80 カメラユーザーガイド

Canon



キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A80

カメラユーザーガイド



CANON
IMAGE DiGiC
GATEWAY

- 最初にp. 6の「ご使用の前に」をお読みください。
- ソフトウェアアクセシビリティガイドやダイレクトプリントユーザーガイドもお読みください。



このカメラでできること

撮影

- シャッターを押すだけで、簡単に撮影できるオート撮影から、多彩な機能を活用できるシャッタースピード優先AE、絞り優先AEなど、思いどおりの撮影が楽しめます。
- 静止画のほか、音声付きの動画も撮影できます。
- 露出補正、ホワイトバランス、色効果なども用途に合わせて変更できます。
- SIセンサーを搭載しており、撮影した画像の縦横位置も自動的に判別します。
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズを装着して撮影できます。

再生

- 撮影した画像をその場ですぐに確認でき、必要なければすぐに削除できます。
- オートプレイ機能で画像を自動的に再生できます。

編集




- 撮影した画像に、音声メモを記録できます。
- 記録した動画を編集できます。

印刷(プリント)

- カメラダイレクト対応プリンター(別売)に接続し、パソコンを使わずに手軽に高画質なプリントを得られます。
- 撮影した画像は、従来の写真と同様に、プリント取扱店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。

撮影した画像の活用

- パソコンに画像を取り込んで、編集できます。
- 撮影した画像や音声は、カメラの起動画面や起動音、シャッター音として設定できます。
- インターネットを通じて、撮影した画像をアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムを友人やご家族にも公開できます。

			P	Tv	Av	M	参照ページ
○	—	—	○	○	○	○	82
○*	—	—	○*	○*	○*	○*	
○	△	○	○	○	○	—	99
○	○	○	○*	○*	○*	○*	97
—	—	—	○	○	○	○	
—	—	—	○	○	○	○	102
○	△	○	○	○	○	○	
○	△	○	○	○	○	○	107
— ⁽³⁾	— ⁽³⁾	— ⁽³⁾	○	○	○	○ ⁽⁴⁾	109
○	—	—	○	○	○	○	118
○	—	—	○	○	○	○	

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合(例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ガイドの使いかた

以下のガイドもご覧ください。



システムマップ

- 同梱品・別売品の紹介
- 周辺機器との接続



クイックスタートガイド

- カメラの準備から撮影、再生、消去、プリント、ソフトウェアのインストール、パソコンとの接続までの基本的な使用方法



カメラユーザーガイド(本書)

- 撮影、再生、消去の操作方法
- パソコンとの接続方法



ダイレクトプリントユーザーガイド

- プリンターとの接続方法とプリント方法



ソフトウェアクイックガイド

- 同梱のCD-ROMに収められている各ソフトウェアの主な機能
- パソコンに必要なシステム構成
- ソフトウェアのインストール方法
- カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法

※「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」もご覧ください。



ZoomBrowser EXソフトウェアガイド(Windows)/ ImageBrowserソフトウェアガイド(Macintosh)

- ZoomBrowser EX(Windows)の詳細な使いかた
- ImageBrowser(Macintosh)の詳細な使いかた



修理サービスご相談窓口

- 修理に関するお問い合わせ先




プリンターユーザーガイド(別売のカメラダイレクト対応プリンターに同梱)


- プリンターとカメラの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意



カードフォトプリンターCP-300/CP-200プリンター ドライバユーザーガイド(カメラダイレクト対応プリンター (CPシリーズ)に同梱)









- プリンタードライバのインストール方法
- プリンターとパソコンの接続方法
- プリント方法

 : カメラに同梱

 : 別売の商品に同梱

このガイドについて

表記について

見出しの下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。この例では、撮影モードダイヤルが**AUTO**、**P**、**Tv**、**Av**、**M**、**C1**、**C2**、、、、、、、、のときに、操作できます。

⚡ ストロボを使って撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

AUTO **P** **Tv** **Av** **M** **C1** **C2**        



：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。



：カメラを使用するにあたって知っておくと便利になること、参考になることを記載しています。

こんなときには

- 撮影モードごとに設定できる機能がよくわからない
 - 電源を切ると、設定の変更が保持されるのかわからない
- 各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 218)

- 利用できる機能にどんなものがあるかわからない
- FUNC.**メニュー(p. 169)
撮影メニュー(p. 171)
再生メニュー(p. 173)
設定メニュー(p. 175)
マイカメラメニュー(p. 179)

- カメラユーザーガイドに記載されているアイコンの意味がわからない
- 液晶モニターに表示される情報(p. 37)
メニュー設定項目と初期設定(p. 52)

上記の各ページは、見つけやすいように他のページとは異なるデザイン(ページの右側に網かけ)になっています。

かんたん操作ガイド

準備・基本操作

撮 影

再生・消去

プリント指定・送信

接 続

マイカメラ機能

オンラインサービス

メニュー・メッセージ一覧

付 録

目次

このページは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

ご使用の前に	6
--------	---

かんたん操作ガイド	14
-----------	----

各部の名称	16
-------	----










準備	20
----	----

電池を入れる	20
CFカードを入れる	24
日付/時刻を設定する	26
言語を設定する	29

基本操作	31
------	----

電源を入れる	31
撮影/再生を切り換える	33
液晶モニターの使いかた	34
ファインダーを使って撮る	42
ズームを調節する	43
シャッターボタンの押しかた	44
メニューの選択と設定のしかた	47

撮影 - カメラまかせの簡単撮影	56
------------------	----



 オートで撮る	56
撮影直後に画像を確認する	58
記録画素数と圧縮率を変更する	60
 ストロボを使って撮る	64
 ポートレートで撮る	67
 風景を撮る	68
 夜景を撮る	69
 高速シャッターで撮る	70
 スローシャッターで撮る	71
 パノラマ画像を撮る(スティッチアシスト)	72
 動画を撮る	76

 至近距離で撮る	78
セルフタイマーを使って撮る	80
デジタルズームで撮る	82
連続して撮る	84

撮影 - 目的に合わせた応用撮影 86

P プログラムAEで撮る	86
Tv シャッタースピードを決めて撮る	88
Av 絞りを決めて撮る	91
M 自由にシャッタースピード/絞りを決めて撮る	94
ピントの合わせかたを切り換える	96
測光方式を切り換える	97
露出を補正する	99
色合いを調整する(ホワイトバランス)	102
色効果を切り換える	107
ISO感度を変更する	109
ストロボ発光量を補正する	111
ピントが合いにくい被写体を撮る	112
C1 C2 カスタム登録する	116
縦横自動回転を設定する	118
ファイル番号をリセットする	120

再生 122

1 画像ずつ見る(シングル再生)	122
 拡大して見る	123
 9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)	124
9画像ずつ表示を切り換える	125
動画を見る	126
動画を編集する	128
回転して表示する	131
音声メモを付ける	132
画像を自動再生する(オートプレイ)	134
画像をプロテクトする	135

消去 136

1 画像ずつ消去する	136
------------------	-----

全画像を消去する	137
CFカードを初期化する	138

プリント **140**

プリントについて	140
DPOFのプリント指定	142

画像の送信設定(DPOF送信指定) **148**

送信する画像を選ぶ	148
-----------------	-----

パソコンへの画像の取り込み **150**

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む	150
CFカードから直接画像を取り込む	154

テレビを使って撮影/再生する **155**

カメラを自分好みにする(マイカメラ機能) **157**

マイカメラコンテンツを変更する	157
マイカメラコンテンツを登録する	160

オンラインサービスの利用 **165**

CANON IMAGE GATEWAYを利用する	165
--------------------------------	-----

メニュー・メッセージ一覧 **169**

FUNC.(ファンクション)メニュー	169
撮影メニュー	171
再生メニュー	173
設定メニュー	175
マイカメラメニュー	179
設定を初期状態に戻す	182
メッセージ一覧	184

付録 **187**

電源キット(別売)の使いかた	187
レンズ(別売)の使いかた	191
海外で使うとき	196

カメラのお手入れ	199
故障かなと思ったら	200
主な仕様	206
索引	213
各撮影モードで設定できる機能一覧	218

ご使用前に

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前のためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

本体温度について

このカメラは、長時間お使いになっていると、本体温度が高くなる場合があります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになる場合があります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、電池、バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターを指します。



警告 この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意 この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。



△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。



⊘記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。(左図：分解禁止)



●記号は、必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警 告

● カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



● ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。



● 本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。お子様が誤って本機器や電池を破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。



● 本機器を分解、改造しないでください。高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



● 落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



● 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



-
- **本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキャノンサービスセンターにご連絡ください。**



-
- **本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。**

万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキャノンサービスセンターにご連絡ください。



-
- **お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災の原因となります。**



-
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。**



-
- **電源コードに重いものを乗せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。漏電して、火災、感電の原因となります。**



-
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。**



● **本機器専用以外の電源は使用しないでください。** 発熱、変形して、火災、感電の原因になります。



● **電池を火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。** また、水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。



● **電池を分解、改造したり、加熱しないでください。** 破裂により、けがの原因となります。万一、電池の電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。



● **電池を落とすなどして強い衝撃を与えないでください。** 外装が破損した場合、電池の液漏れにより、けがの原因になります。



● **キーホルダーなどの金属類で電池の「+」と「-」の端子を接触(ショート)させないでください。** 発熱し、やけど、けがの原因となります。



● **電池を廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。** 廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



● **指定された電池を使用してください。** それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。



● **キャノン製の単3形ニッケル水素電池およびバッテリーチャージャーをお使いください。** それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。



● **バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。** 長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。



●コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。



●別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。また、太陽などの強い光源を絶対に覗かないでください。失明する恐れがあります。



⚠ 注 意

- 直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。



- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電、故障の原因になることがあります。



- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。けがや本体の故障の原因となることがあります。



- ストロボの発光部分を、手や布などで覆ったまま発光しないでください。煙や音が出て、故障の原因になることがあります。また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。



- ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物が付いたまま発光しないでください。発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因になることがあります。



故障を防ぐためのご注意

■電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

■結露を防ぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露(水滴)が発生することがあります。

カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■結露が発生したときは

故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。CFカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

■長期間使用しないときは

電池をカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で、故障することがあります。

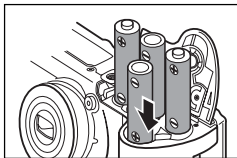
ただし、電池を取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。

かんたん操作ガイド

1 電池を入れる(p. 20)

バッテリーカバー開放スイッチをスライドしてバッテリーカバーを開き、電池を入れます。

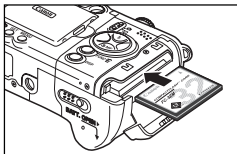
- 電池の取り扱いについて (p. 21)



2 CFカードを入れる(p. 24)

CFカードスロットカバーを開き、CFカードを差し込みます。

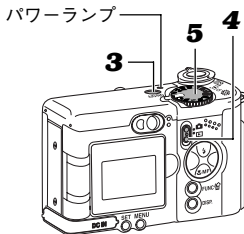
- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで差し込みます。



3 液晶モニターを開き(p. 34)、メインスイッチを押し電源を入れる(p. 31)

メインスイッチ横のパワーランプが緑色に点灯するまで、メインスイッチを押し続けます。

- 日付/時刻の設定画面が表示されたとき(p. 26)
- メニューの表示言語を変更するとき(p. 29)



4 モードスイッチを📷(撮影)に合わせる(p. 33)

5 撮影モードダイヤルを AUTO (オート) に合わせる (p. 56)

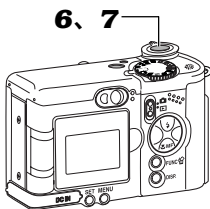


6 ピントを合わせる(p. 44)

写したいもの(被写体)にカメラを向け、シャッターボタンを軽く押します。ピントが合うと電子音が2回鳴ります。

7 撮影する(p. 45)

さらにシャッターボタンを深く押します。撮影が終了するとシャッター音が1回だけ鳴ります。



8 撮影した画像を見る

撮影した画像が約2秒間表示されます(p. 58)。

今までに撮影した画像を確認したいときは、「再生」(p. 122)をご覧ください。



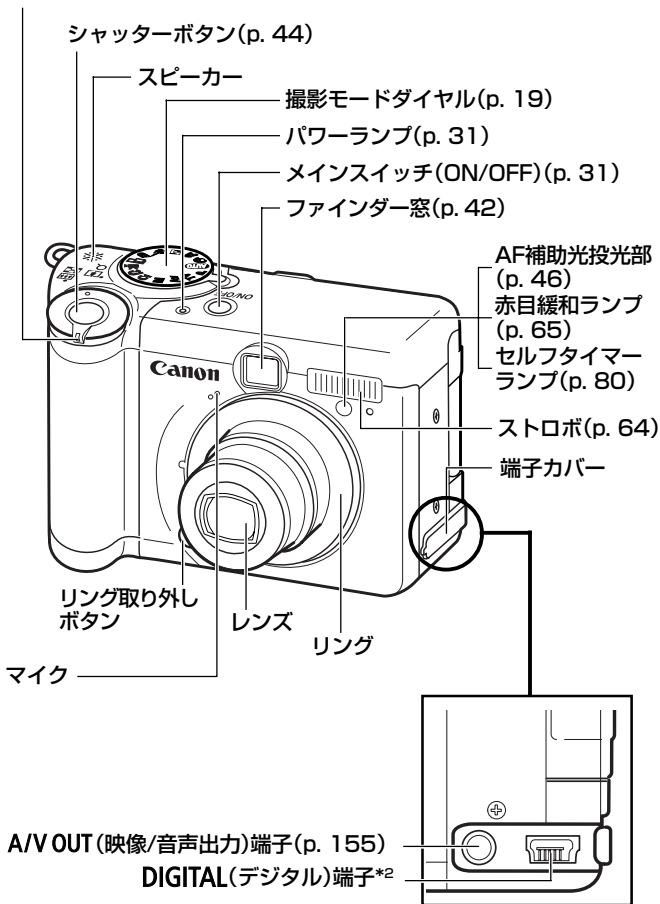
表示画像をすぐに消去する

- 1 画像の表示中に、**削除**ボタンを押します
- 2 [消去]が選択されていることを確認し、**SET**ボタンを押します



各部の名称

ズームレバー (p. 43, 82, 123, 124, 125)

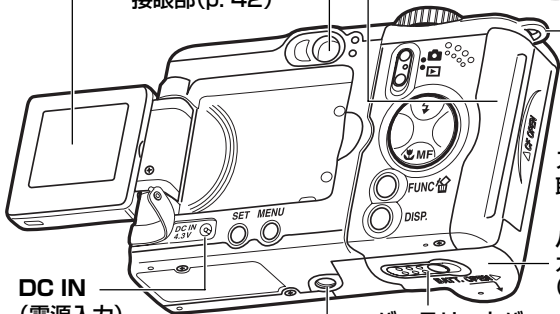


ストラップの取り付けかた*1

液晶モニター(p. 34)

CFカードスロット
カバー(p. 24)ファインダー
接眼部(p. 42)ストラップ
取り付け部バッテリー
カバー
(p. 20)DC IN
(電源入力)
端子(p. 190)

三脚ねじ穴

バッテリーカバー
開放スイッチ(p. 20)

*1 ストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

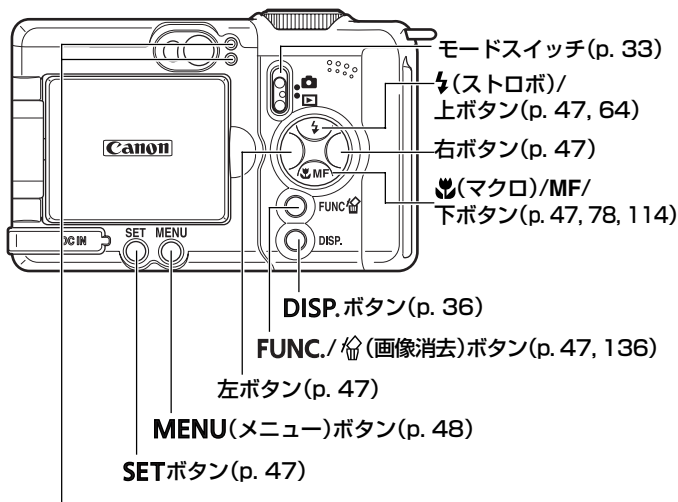
*2 カメラにパソコン、またはプリンターを接続するときに使用するケーブルは、以下のとおりです。

パソコン:USBインターフェースケーブル IFC-300PCU(カメラに同梱)

カメラダイレクト対応プリンター(別売)

- CPプリンター:USBインターフェースケーブルIFC-300PCU(カメラに同梱)または、ダイレクトインターフェースケーブルDIF-100(カメラダイレクト対応プリンターに同梱)
- BJプリンター
 - BJダイレクト対応プリンター:
BJプリンターの使用説明書でご確認ください。
 - PictBridge対応プリンター:
USBインターフェースケーブルIFC-300PCU(カメラに同梱)
- キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター:USBインターフェースケーブルIFC-300PCU(カメラに同梱)

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターについては、システムマップ、またはダイレクトプリントユーザーガイドでご確認ください。



ランプ

メインスイッチまたはシャッターボタンを押したとき、ランプが点灯、点滅します。

上側のランプ

緑点灯： 撮影準備完了

緑点滅： CFカードへ記録中/CFカードからの読み出し中/CFカードからの消去中/データ転送中(パソコン接続時)/電池残量が低下

橙点灯： 撮影準備完了(ストロボ発光)

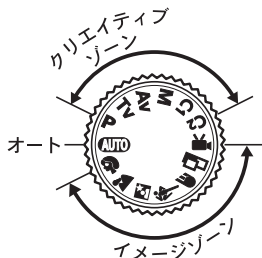
橙点滅： 撮影準備完了(手ブレ警告)

下側のランプ

黄点灯： マクロ撮影/マニュアルフォーカス撮影

黄点滅： ピントが合いにくいとき(黄点滅でもシャッターは押せますが、フォーカスロックでピントを合わせて撮影してください(p. 112))。

撮影モードダイヤル



撮影モードを選ぶときに使います。

- **AUTO** : オート(p. 56)
カメラまかせの撮影ができます。
- **イメージゾーン**
被写体に合う条件をカメラまかせで設定し、撮影ができます。
 - 👤 : ポートレート(p. 67)
 - 🏞️ : 風景(p. 68)
 - 🌃 : 夜景(p. 69)
 - 📸 : 高速シャッター(p. 70)
 - 🕒 : スローシャッター(p. 71)
 - 📷 : スティッチアシスト(p. 72)
 - 🎥 : 動画(p. 76)
- **クリエイティブゾーン**
露出や絞りを変えるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。
 - P** : プログラムAE(p. 86)
 - Tv** : シャッタースピード優先AE(p. 88)
 - Av** : 絞り優先AE(p. 91)
 - M** : マニュアル露出(p. 94)
 - C1** : カスタム1(p. 116)
 - C2** : カスタム2(p. 116)

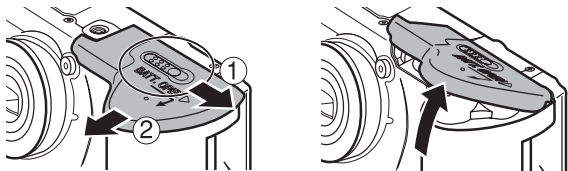
準備

電池を入れる

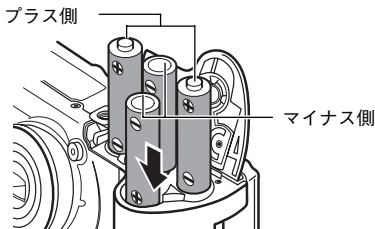
同梱の単3形アルカリ電池、または別売の単3形ニッケル水素電池を4本入れてください。

1 電源が切れていることを確認する

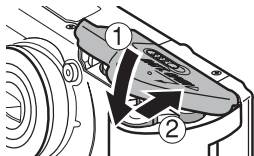
2 バッテリーカバー開放スイッチを矢印の方向にスライドさせ、バッテリーカバーを開く



3 電池を図のように入れる



4 バッテリーカバーを閉じる





- ファインダー接眼部横のランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、カメラの電源を切ったり、バッテリーカバーを開けないでください。



- 長時間お使いになる場合は、別売のACアダプターキットACK600をご使用ください(p. 190)。
- 別売のバッテリー/チャージャーキットをお使いになると、単3形ニッケル水素電池を使用することもできます(p. 187)。
- 電池性能について(p. 209)
- お使いになれるバッテリー/チャージャーキット、単3形ニッケル水素電池については、システムマップ(別紙)をご覧ください。

電池の取り扱いについて

- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、単3形ニッケル水素電池です。単3形ニッケル水素電池(別売)は、キヤノン製のものをお使いください。単3形ニッケル水素電池の取り扱いについては、「充電式バッテリーを使う(p. 187)」をご覧ください。
- マンガン電池やリチウム電池は発熱の恐れがありますのでお使いになれません。
- アルカリ電池は、銘柄により容量や特性に差があるため、付属のアルカリ電池に比べ、電池の使用可能時間が短い場合があります。
- アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。またアルカリ電池の特性上、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノンの単3形ニッケル水素電池(4本セット)をお使いになることをおすすめします。
- 単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあるためおすすめできません。

- 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- 電極((+)と(-))を逆にして入れないでください。
- メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていると、記録画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。
- 低温下では電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります(特にアルカリ電池の場合)。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。この際、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートする恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。
ただし、電池を取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。

⚠ 警告

外装シールが(一部または全体に関わりなく)剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池
(裸電池)






プラス電極が平らである電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

電池残量について

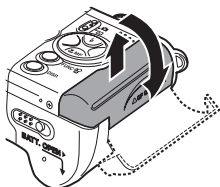
電池残量が低下すると、以下のようにランプが点滅するほか、アイコンやメッセージが表示されます。

<p>パワーランプ が緑色に点滅</p>	<p>電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、新しい電池を使用するか、早めに充電してください。</p>
	<p>液晶モニターが消えているときは、DISPボタン、ボタン、/MFボタンのいずれかを押し、表示されます。</p>
<p>バッテリー を交換して ください</p>	<p>電池の残量が少なく、動作不能です。直ちに電池を交換してください。</p>

CFカードを入れる

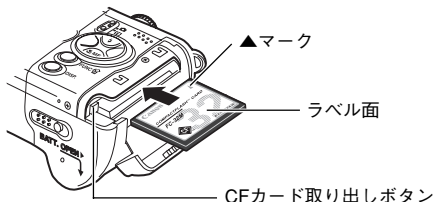
1 電源が切れていることを確認する

2 CFカードスロットカバーを矢印の方向にスライドさせて開く

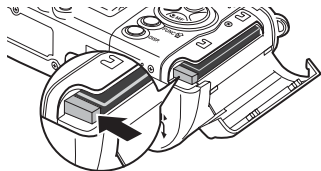


3 CFカードのラベル面を手前にして差し込む

- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで差し込みます。



- CFカードを取り出すときは、CFカード取り出しボタンを押します。



4 CFカードスロットカバーをしっかりと閉じる



- ファインダー横のランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。
 - カメラ本体に振動や衝撃を与える。
 - カメラの電源を切ったり、CFカードスロットカバーを開ける。
- 他社のカメラやパソコン、または他のアプリケーションソフトウェアで編集したCFカードを使用すると、誤作動する恐れがありますのでご注意ください。
- このカメラで初期化したCFカードをお使いになることをおすすめします(p.138)。同梱のCFカードは、そのままお使いになれます。



- CFカードの種類と記録画像数の目安について(p.210)

CFカードについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり、改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動すると、CFカードに水滴が付き(結露)、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密閉しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。
結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。

ほこりや砂ぼこりの立つ場所
高温多湿の場所

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、または、内蔵の充電型リチウム電池の容量がなくなったときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。手順5から操作してください。

1 メインスイッチを押して、電源を入れる
(p. 31)

2 液晶モニターを開いて(p. 34)、**MENU**ボタンを押す

- [📷(撮影)]メニューまたは[▶(再生)]メニューが表示されます。



オートモードの
[📷(撮影)]メニューです。

3 左/右ボタンで[⚙️(設定)]メニューを選ぶ

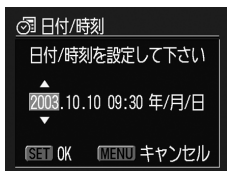


4 上/下ボタンで (日付/時刻) を選び、SET ボタンを押す



5 日付と時刻を設定する

- 左/右ボタンで、設定したい項目を選びます。
- 上/下ボタンで、設定内容を変更します。
- 2030年まで設定できます。



6 SET ボタンを押す

- 設定後、MENU ボタンを押して操作を終了します。



- 電池を取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。再度、設定し直してください。
- 日付/時刻を設定しても、画像自体に日付/時刻を入れることはできません。日付を入れてプリントしたいときは、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドやソフトウェアクイックガイドをご覧ください。



日付/時刻用のバッテリーの充電について

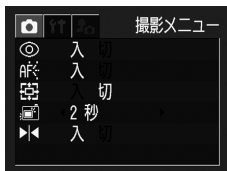
- カメラには、日付/時刻などの設定を保持するための充電型リチウム電池が内蔵されており、電池を入れたときに充電されます。ご購入時に4時間程度、カメラに電池を入れておくか、ACアダプターキットACK600(別売)を使用し、充電してください。カメラの電源が入っていても充電できます。
- 電源を入れたときに、日付/時刻設定画面が表示された場合は、内蔵の充電型リチウム電池の容量がなくなっています。上記の方法で充電してください。

言語を設定する

液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

- 1 メインスイッチを押して、電源を入れる
(p. 31)
- 2 液晶モニターを開いて(p. 34)、**MENU**ボタンを押す

- [📷(撮影)]メニューまたは[▶(再生)]メニューが表示されます。



オートモードの
[📷(撮影)]メニューです。

- 3 左/右ボタンで[⚙️(設定)]メニューを選ぶ



4 上/下ボタンで (言語) を選び、SET ボタンを押す



5 上/下/左/右ボタンで言語を選ぶ



6 SET ボタンを押す

- 設定後、MENU ボタンを押して操作を完了します。



かんたん操作

- カメラが再生モードのときは、SET ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます(動画再生時、または別売のプリンター接続時は設定できません)。

基本操作

電源を入れる

- 1 パワーランプが点灯するまで、メインスイッチを押す

撮影モードのとき

- 液晶モニターが開いていれば、液晶モニターに撮影情報が約6秒間表示されます。



- モードスイッチを  に合わせ、約1分経過するとレンズは収納されます。

再生モードのとき

- 液晶モニターに撮影した画像が表示されます。
(あらかじめ液晶モニターを開いておいてください (p. 34))。

電源を切る

- 電源を切るときは、もう一度メインスイッチを押します。



- 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます(起動音、起動画面を変更する(下記、p. 157、p. 179))。
- 撮影モード時に液晶モニターが非表示になっているときや、テレビに接続しているときは、起動画面は表示されません。

起動画面と起動音を消すには

SET ボタンを押しながら、電源を入れます。

節電機能について

カメラには節電機能が付いています。節電機能が[入]のとき、節電機能が働いて電源が切れたときは、再度メインスイッチを押します。

撮影時：約3分間、何も操作しないと電源が切れます。
また、液晶モニターをつけてから、約1分間* 何も操作しないと、液晶モニターが消えます。このとき、メインスイッチ以外のいずれかのボタンを押すと、再び液晶モニターがつきます。

* 時間を変更することができます(p. 176)。

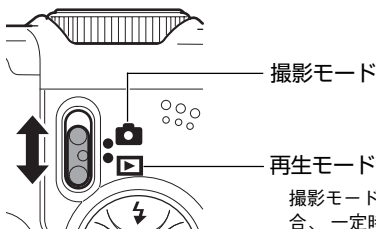
再生時：約5分間、何も操作しないと電源が切れます。

プリンター接続時：約5分間、カメラとプリンターの操作を何もしないと、電源が切れます。

- オートプレイで自動再生中、およびパソコン接続時は、節電機能は動きません(p. 134、150)。
 - 設定メニューで節電機能を無効にすることもできます(p. 176)。
-

撮影/再生を切り換える

撮影モードと再生モードを素早く切り換えることができます。撮影直後に画像を確認、消去ができ、またすぐに撮影に戻ることができるので便利です。




撮影モードから再生モードに切り換えた場合、一定時間レンズは収納されません。




撮影するとき(撮影モード)

- モードスイッチを  側にスライドする

再生するとき(再生モード)

- 液晶モニターを開き、モードスイッチを  側にスライドする
 - プリンター(別売)と接続すると、撮影した画像をプリントできます(ダイレクトプリントユーザーガイド参照)。
 - パソコンと接続したときは、撮影した画像をパソコンで表示したり、取り込んだりできます(p. 150)。

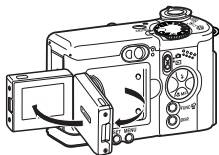


- プリンター(別売)への接続が完了すると、液晶モニターに 、 または  が表示されます。
- パソコンへの接続が完了すると、液晶モニターは消えます。

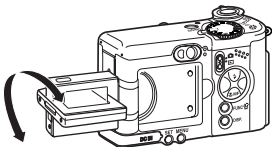
液晶モニターの使いかた

画像を確認しながら撮影するときや、メニュー操作、画像を再生するときには、液晶モニターを使います。

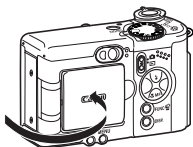
液晶モニターは次の範囲で動かさせます。



左右に180度開きます。



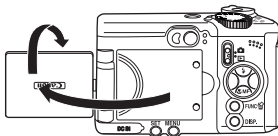
レンズ側に180度、ファインダー側に90度回転します。



液晶モニターを内側にしてカチッと音がするまで閉じると、液晶モニターの表示は自動的に消えます。液晶モニターの保護のため、カメラを使わないときは、必ずこの状態にしてください。

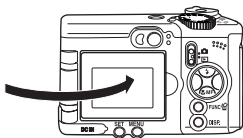
次のように回転することもできます。

1 液晶モニターを開き、レンズ側に180度回転させる



- この状態のときは、アイコンやメッセージは液晶モニターに表示されません。
- レンズ側から液晶モニターを見て撮影できるように、画像が鏡像(左右反転)で表示されます。(鏡像の設定を切ることができます(p. 173))。

2 液晶モニターを閉じる



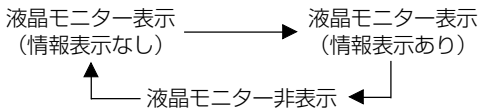
- カチッと音がするまで液晶モニターを閉じてください。きちんと押し込まれていないと、画像が鏡像で表示され、アイコンやメッセージが表示されません。
- 液晶モニターを閉じると、アイコンやメッセージが表示されるようになり、画像の左右が正しくなります。





- 太陽や強い光があたると液晶モニターの表示が黒くなる
ことがあります。故障ではありません。

撮影モードのとき

- DISP.ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

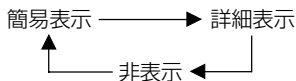


- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたとき、直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- 、にしたときは、設定に関わらず、液晶モニターが表示されます。

再生モードのとき

- モードスイッチを▶に合わせると、液晶モニターがつかまります。
- DISP.ボタンを押すたびに、情報表示の切り換えができます。

シングル再生時(1画像再生)



インデックス再生時(9画像再生)



液晶モニターに表示される情報

撮影モードのとき

液晶モニター表示(情報表示なし)や、液晶モニター非表示でも、撮影の設定を変更した場合などは、液晶モニターに情報が約6秒表示されます。(その時のカメラの設定内容によって表示されないこともあります。)

これらの情報が表示されている間に、ストロボ、マクロ、マニュアルフォーカスの設定ができます。

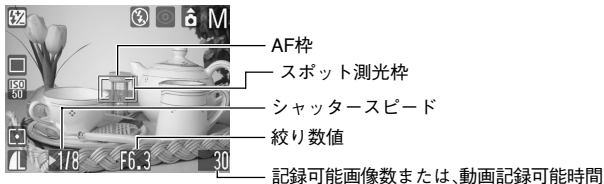


- 撮影準備完了時に、ファインダー接眼部横の上側のランプが橙色に点滅し、液晶モニターに手ブレ警告アイコン (📷) が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。ストロボを📷または📷にするか、三脚などでカメラを固定して撮影してください。



- シャッターボタンを押して撮影を終了したとき、約2秒間 (確認時間 (2~10秒) を変更した場合は、その秒数) 撮影した画像が表示されます。画像表示中に **SET** ボタンを押すと、表示され続けます (p. 58)。
- 撮影した画像が液晶モニターに表示されているとき、画像の明るさを判断するためのグラフ (「ヒストグラム」 (p. 41)) やその他の情報が表示され、画像の明るさを確認できます。必要であれば、露出を補正するなどして、撮り直してください (ヒストグラムが表示されないときは、**DISP.** ボタンを押してください)。

情報表示のときは、次の情報が表示されます。



再生モードのとき

- 簡易表示では、次の情報が表示されます。



ファイル番号 撮影日時

画像番号(再生画像番号/総画像数)

詳細表示では、さらに次の情報が表示されます。



ヒストグラム

動画記録時間

シャッタースピード
絞り数値



	撮影モード	p. 19
-2...±0...+2	露出補正	p. 99
AWB	ホワイトバランス	p. 102
	色効果	p. 107
ISO 50 100 200 400	ISO感度	p. 109
	ストロボ	p. 64
	マクロモード	p. 78
MF	マニュアルフォーカス	p. 114
	測光方式	p. 97
320 160	記録画素数(動画)	p. 60

- これら以外に図のように、シャッタースピード、絞り数値、ヒストグラム、動画記録時間が表示されます。

画像によっては、以下の情報が表示されることがあります。

♪?	WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
▲	DCFの規格に対応していないJPEGファイルです。
RAW	RAW形式のファイルです。
?	認識できない形式のファイルです。



- このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像を、このカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいほうに偏っているときはマイナス側に補正して撮影します(p. 99)。

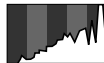
ヒストグラム例



暗い画像



普通の明るさの画像

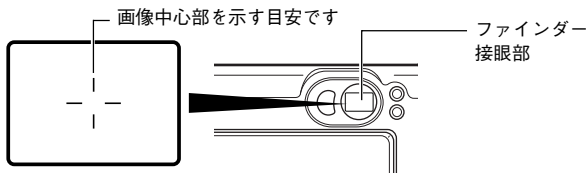


明るい画像

ファインダーを使って撮る

液晶モニターを非表示にし(p. 36)、ファインダーを使って撮影すると、消費電力を抑えることができます。

1 写したいもの(被写体)に中央の枠(オートフォーカス範囲)を合わせて撮影する



オートフォーカスについて

- このカメラのオートフォーカス機能は、AiAF*を採用しています。

AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。

* Ai=Artificial intelligence: 人工知能
AF=オートフォーカス

ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて


- 通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認できます。

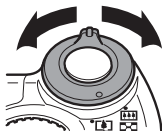
また、ファインダーの特性上、ファインダーから見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じます。特に、被写体の距離が近い場合には、ズレが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。そのため、マクロモードでは必ず液晶モニターを使って撮影してください。


ズームを調節する

35mmフィルム換算で、38～114mmの範囲で画角を調節できます。

広角/望遠

：広角
被写体が小さく
なります。



：望遠
被写体が大きく
なります。



広角



望遠

デジタルズーム

液晶モニターがついているときは、光学ズームと合わせて最大約11倍に拡大して撮影できます(p. 82)。



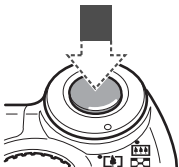
- 撮影モードによって、デジタルズームが使えないことがあります(p. 218)。



- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、半押しと全押しの2段階で動作します。



半押し …… 浅く押したとき

露出、フォーカス、ホワイトバランスが自動設定されます。

ランプで設定状態がわかります。

上側のランプ

- 緑点灯：撮影準備完了
(電子音が2回鳴ります。)
- 橙点灯：ストロボ発光
- 橙点滅：手ブレ警告/露出不足

下側のランプ

- 黄点灯：マクロ撮影/マニュアルフォーカス撮影
- 黄点滅：ピントが合いにくいとき*
(電子音が1回鳴ります。)

* 黄点滅したときは、フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスを使って撮影してください(p.112)。

AF枠



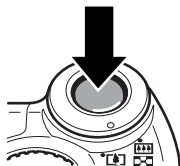
AF枠は、次のようになります。(液晶モニターがついているとき)

AiAFが[入](p.96)のとき

- 緑色表示：撮影準備完了(ピントの合ったAF枠)
- 非表示：ピントが合いにくいとき

AiAFが[切](p.96)(中央1点AF)のとき

- 緑色表示：撮影準備完了
- 黄色表示：ピントが合いにくいとき



全押し …… 深く押したとき

撮影します。

- 撮影が終了するとシャッター音が鳴ります。シャッター音が鳴るまでカメラを動かさないでください。
- CFカードに記録中はランプが緑色に点滅します。



- シャッターボタンを半押ししたときに、橙色、または黄色のランプが点滅していても、そのまま全押しして撮影できます。
- 撮影した画像は、いったん内部メモリーに保存され、順次CFカードに書き込まれていきます。内部メモリーに空きがある間は、撮影後、すぐに次の撮影ができます。
- 電子音、シャッター音の[入/切]は、メニューで設定できます(p. 175)。
- シャッター音を[**1**、**2**、**3**(入)](p. 157)にしても、消音を[入]に設定している場合は、音は鳴りません。
- 動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。
- ストロボ充電中は撮影できません。

AF補助光について

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたときは、ピントを合わせやすくするために、AF補助光投光部が光ることがあります。
- AF補助光を切ることもできます(p. 172)。
例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。
ただし、以下のことに注意してください。
 - AF補助光を切ると、暗い場所などでピントが合いにくくなることもある
 - AF補助光を切っても、シャッターボタンを半押しすると、赤目緩和ランプが光ることがあるストロボ発光前に何も光らないようにするには、撮影メニューの赤目緩和機能を[切]、AF補助光を[切]にしてください。

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って操作します。メニューを表示させるには、**FUNC.**ボタンを押す場合と、**MENU**ボタンを押す場合があります。液晶モニターを見ながら、次のように操作してください。

FUNC.ボタンを押して設定する(撮影モードのときのみ)

1 液晶モニターを開き、FUNC.ボタンを押す



- 液晶モニターの左端に、変更可能な設定のアイコンが表示されます。
- アイコンは、その時設定されている内容が表示されます。

2 上/下ボタンを押して、メニュー項目を選ぶ

3 左/右ボタンを押して、設定したい内容を選ぶ

- メニューによっては、**SET**ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度**SET**ボタンを押して、設定内容を確定します。



4 FUNC.ボタンを押す

- メニューが終了します。
- 手順3のあと、すぐにシャッターボタンを押して選んだ設定で撮影することもできます。

MENUボタンを押して設定する

1 液晶モニターを開き、MENUボタンを押す

- カメラが撮影モードのときは[(撮影)]メニューが表示され、再生モードのときは[(再生)]メニューが表示されます。

2 左/右ボタンでメニューを切り換える



- メニューは次のように切り換わります。
[(撮影)]または[(再生)] ↔ [(設定)] ↔ [(マイカメラ)]
- ズームレバーでも、同様にメニューの切り換えができます。

3 上/下ボタンでメニュー項目を選ぶ



4 左/右ボタンで設定したい内容を選ぶ



- 「...」のある項目では、**SET** ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度**SET** ボタンを押して設定内容を確認します。
また、「...」のある項目では、左/右ボタンのほかに、上/下ボタンでも項目を選択できる場合があります。

5 MENUボタンを押す

- メニューが終了します。
- 撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

メニューの選択と設定のしかた(つづき)

メニュー表示

メニューの

撮影モード



FUNC.メニュー

撮影モード



MENU



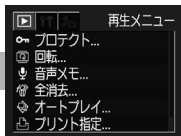
撮影メニュー*

- 各モードによって選べる項目は異なります。

再生モード



MENU



再生メニュー*

切り換え

設定と確定

終了

準備・基本操作



FUNC.



設定メニュー*



マイカメラ*
メニュー



SET

MENU

*ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

メニュー設定項目と初期設定

各メニューで設定できる項目と初期設定は、次のとおりです。

- 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります (p. 218)。

FUNC.ボタンで設定できる項目

メニュー項目	設定内容	参照ページ
露出補正	-2 ~ ±0*~+2	99
ストロボ発光量	小*/中/大	111
ホワイトバランス	AWB*///////	102
ドライブモード	*///	80/84
ISO感度	AUTO/50*/100/200/400	109
色効果	*/////	107
測光方式	*//	97
記録画素数、圧縮率	(静止画) L*/M1/M2/S (動画) */ (圧縮率) /*/	60

*初期設定

MENUボタンで設定できる項目

	メニュー項目	設定内容	参照ページ
	 AiAF	入*/切	96
	 赤目緩和機能	入*/切	65
撮影メニュー	 MF拡大表示	入*/切	115
	 AF補助光	入*/切	172
	 デジタルズーム	入 /切*	82
	 撮影の確認	切 / 2秒* ~ 10秒	59
	 鏡像表示	入*/切	173
	C カスタム登録	使いかたに合わせた設定を登録します。	116
	 プロテクト	プロテクトを設定します。	135
	 回転	回転して表示します。	131
再生メニュー	 音声メモ	画像に音声メモを設定します。	132
	 全消去	すべての画像を消去します。	137
	 オートプレイ	自動再生します。	134
	 プリント指定	プリント指定をします。	142
	 送信指定	送信指定をします。	148

*初期設定

メニュー項目	設定内容	参照ページ	
消音	入 / 切*	175	
音量	起動音量	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	175
	操作音量		
	セルフタイマー音		
	シャッター音量		
	再生音量		
節電	オートパワーオフ	入* / 切	176
	ディスプレイオフ	10秒/20秒/30秒/1分*/2分/3分	176
日付/時刻	日付/時刻を設定します。	26	
カードの初期化	CFカードを初期化します。	138	
番号リセット機能	入 / 切*	120	
縦横自動回転	入*/切	118	
距離表示	m/cm* / ft/in	178	
言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 汉语 / 日本語*	29	
ビデオ出力方式	NTSC* / PAL	178	
 マイカメラメニュー	セット	/ 1* / /	157 179 180
	起動画面	/ 1* / /	
	起動音	/ 1* / /	
	操作音	/ 1* / /	
	セルフタイマー音	/ 1* / /	
	シャッター音	/ 1* / /	

*初期設定

- マイカメラメニューの設定内容「**23**」と「**23**」には、好きな画面や音を登録できます。詳しくは「マイカメラコンテンツを登録する (p. 160)」、またはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- カメラの設定を初期設定に戻せます (p. 182)。

撮影 - カメラまかせの簡単撮影

各撮影モードで、どのような設定が変更できるかは、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 218)」をご覧ください。

AUTO オートで撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

AUTO

シャッターボタン以外の操作をする必要がなく、カメラまかせの撮影ができます。

1 撮影モードになっていることを確認する
(p. 33)

2 撮影モードダイヤルを **AUTO** にする



3 被写体にカメラを向ける

4 ズームレバーで画角(画面内の被写体の大きさ)を決める

5 シャッターボタンを半押しする(p. 44)

- シャッターボタンを押してピントを合わせます。撮影準備が完了すると、電子音が2回鳴り、ファインダー接眼部横のランプが緑色または橙色に点灯します。液晶モニターがついているときは、AF枠が緑色になります。
- ピントが合いにくいときは、電子音が1回鳴りファインダー接眼部横のランプが黄色に点滅します。



AF枠

6 シャッターボタンを全押しする(p. 45)

- シャッター音が1回鳴り、撮影が完了します。
- 撮影した画像が約2秒表示されます。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- 撮影後、液晶モニターに撮影画像が表示される時間を変更したり、表示されないように設定できます(p. 59)。

撮影直後に画像を確認する

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



撮影直後に、約2秒間、撮影した画像が表示されます。
また、次の方法で設定時間に関わらず画像が表示され続けます。

● シャッターボタンを全押しし続ける

シャッターボタンを全押しし続けている間、液晶モニターに画像が表示されます。

● 撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す

撮影した画像が表示されている間に**SET**ボタンを押すと、シャッターボタンを離しても、画像が表示され続けます。

シャッターボタンを半押しすると解除され、撮影できます。



- 画像確認中に次のようなことができます。参照先をご覧ください。
 - 画像を消去する(p. 15、136)
 - 画像を拡大表示する(p. 123)

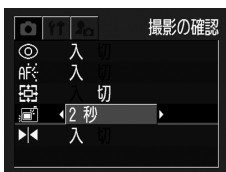
撮影した画像の確認時間を変更する

画像の確認時間を[切]または[2秒]～[10秒]のいずれかに変更できます。

1 [📷 (撮影)]メニューから📷 (撮影の確認)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 確認時間を選び、MENUボタンを押す



- [切]の場合、画像は表示されません。
- [2秒]から[10秒]の場合、シャッターボタンを離しても、設定した時間、画像を表示します。
- シャッターボタンを全押しし続けると、設定に関わらず画像を表示できます。
- 画像の表示中でも撮影はできます。

記録画素数と圧縮率を変更する

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます






目的に応じて、記録画素数、圧縮率(動画を除く)を変更できます。

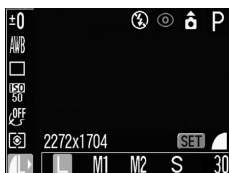
記録画素数			撮影の目安
L (ラージ)	2272×1704 画素		大きい ↑ ↓ 小さい
M1 (ミドル1)	1600×1200 画素	<ul style="list-style-type: none"> • Lサイズ、またはA5サイズをプリントするとき 	
M2 (ミドル2)	1024×768 画素	<ul style="list-style-type: none"> • カードサイズをプリントするとき 	
S (スモール)	640×480 画素	<ul style="list-style-type: none"> • 電子メールで画像を送るとき • より多くの画像を撮影するとき 	

圧縮率			撮影の目安
S	スーパーファイン		きれい ↑ ↓ 普通
M	ファイン	通常の撮影をするとき	
L	ノーマル	より多くの画像を撮影するとき	

- 動画の場合は、次の記録画素数で撮影できます。

記録画素数	
	320×240画素
	160×120画素

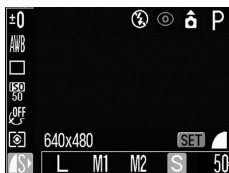
- 1 液晶モニターを開く
- 2 撮影モードダイヤルを任意の位置にする
- 3 FUNC.ボタンを押す
- 4 上/下ボタンで  L*(2272×1704)を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

- 5 左/右ボタンで設定したい記録画素数を選ぶ

 以外



記録画像数
(記録画素数、圧縮率を
選択したときのみ表示)

- 6 SET ボタンを押す

7 左/右ボタンで設定したい圧縮率を選ぶ



- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示されます。
- **SET**ボタンを押すと、手順4の画面に戻り、記録画素数を変更できます。

8 FUNC.ボタンを押す

9 撮影する



- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 218)をご覧ください。
- 1画像の容量(目安)について(p. 210)
- CFカードの種類別、記録画像数について(p. 210)
- 記録画素数や圧縮率は、撮影モードを変更した場合、次のようになります(●は、記録画素数のみ)。
例1：AUTOからMに変更した場合は、Mで設定してある記録画素数、圧縮率に変更されます。
例2：PからTvに変更した場合は、Pで設定してある記録画素数、圧縮率のままです。








現在の撮影モード	変更後の撮影モード	変更後の記録画素数、圧縮率
AUTO C1 C2	AUTO	変更したモードの設定内容に変わります。
		設定内容は変わりません。
P Tv Av M	P Tv Av M	設定内容は変わりません。
P Tv Av M	AUTO	変更したモードの設定内容に変わります。

⚡ ストロボを使って撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます


AUTO P Tv Av M C1 C2       

撮影状況に合わせて、ストロボを使って撮影できます。

 	赤目緩和オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。ストロボ発光の際には、常に赤目緩和ランプを発光します。
	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。
 	常時発光(赤目緩和)	常に赤目緩和ランプとストロボを発光して撮影します。
	常時発光	常にストロボを発光して撮影します。
	発光禁止	撮影時にストロボは発光しません。

1 液晶モニターを開き、⚡ ボタンを押してストロボモードを切り換える



- 液晶モニターに、選択したストロボモードが表示されます。
-  ボタンを押すたびに設定が切り換わります。

赤目緩和機能[入]のとき



赤目緩和機能[切]のとき



撮影モードによっては設定できないことがあります(p. 218)。

2 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、ファインダー横のランプが橙色に点灯した場合は、ストロボが発光します。(☑では発光しません)
- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る(p. 56)」と同じです。

赤目緩和機能を設定する

暗いところでストロボを発光するとき、赤目緩和ランプを発光します。ストロボの光が目反射して目が赤く光るのを防ぎます。

1 [☑(撮影)]メニューの☑(赤目緩和機能)で[入]を選ぶ





- ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。



- **赤目緩和で撮影するときは**

写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るように声をかけてください。また、「レンズを広角側にする」、「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と、より効果があがります。

- 撮影モードによっては設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 218)をご覧ください。
- ストロボの発光は、プリ発光とメイン発光の2回行われます。プリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- ストロボをお使いになるときは、通常撮影時で45cm以上、マクロ撮影時で25cm以上、カメラを被写体から離してください。
- ストロボ同調最高シャッタースピードは1/500秒です。1/500秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に1/500秒に再設定され、撮影されます。
- **M**以外のときは、自動調光で発光します。**M**のときはマニュアル発光します。
- **M**のときは、ストロボ発光量を変えられます(p. 111)。
- ストロボ充電中は、撮影できません。
- ストロボの充電には約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリーの残量などにより変わります。
- **P**、**Tv**、**Av**、**M**の場合、設定したストロボモードは、カメラの電源を切っても解除されません。

📷 ポートレートを撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



背景をぼかして人物を浮き立たせたいときに使います。

1 撮影モードダイヤルを📷にする



- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る (p. 56)」と同じです。



- このモードで変更できる設定 (p. 218)
- 被写体の上半身が、ファインダーまたは液晶モニターいっぱいになるくらいにすると、背景を効果的にぼかすことができます。
- レンズを望遠側にすると、背景をさらにぼかすことができます。

風景を撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



広がりのある風景を撮影するときに使います。

1 撮影モードダイヤルを風景モードにする



- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る (p. 56)」と同じです。



- このモードで変更できる設定 (p. 218)
- 風景モードではシャッタースピードが遅くなりやすいので、液晶モニターに**手ブレ警告**が表示されたら、三脚を使用して撮影してください。

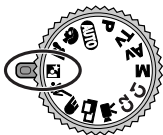
夜景を撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影するときに使います。人物にはストロボ光があたり、背景は遅いシャッタースピードで、それぞれをきれいに撮影できます。

1 撮影モードダイヤルを夜景にする



- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る(p. 56)」と同じです。

夜景だけを撮りたいとき

夜景だけを撮りたいときは、ストロボを \odot にして撮ります。夜景は、光そのものが被写体であるため、ストロボを使用すると、夜景の光を打ち消してしまいます。ただし、シャッタースピードが遅くなり、カメラを手持ちするとブレやすいので、必ず三脚をお使いください。



- 手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- シャッタースピードが遅いので、ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。
- \odot で日中に撮影すると、**AUTO**と同じ撮影効果になります。

高速シャッターで撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



動きの速い被写体を撮影するときに使います。

1 撮影モードダイヤルをにする



- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る (p. 56)」と同じです。



- このモードで変更できる設定 (p. 218)
- 被写体が暗い場合は、ノイズが目立つことがあります。

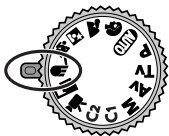
☑ スローシャッターで撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



動いている被写体をぶれさせたり、川の流れなどを撮影するときに使います。

1 撮影モードダイヤルを☑にする



- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る (p. 56)」と同じです。



- 手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。



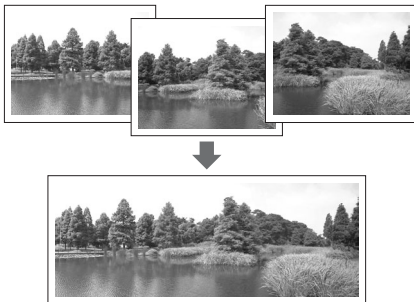
- このモードで変更できる設定 (p. 218)

📷 パノラマ画像を撮る(スティッチアシスト)

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



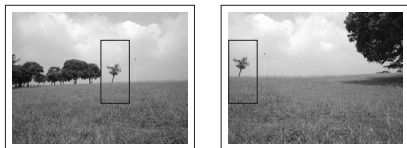
スティッチアシストモードで撮影すると、撮影した画像をパソコンで合成し、パノラマ画像を作成できます。



- パソコンでの画像合成には、同梱の「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえ方

PhotoStitchは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体(目印となる被写体)を入れて撮影してください。

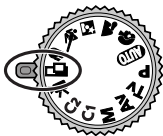




- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の30～50%になるように撮影してください。また、上下のズレは、画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体が入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。ゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド(カメラを被写体に対して平行移動)させます。

撮影する

1 液晶モニターを開き、撮影モードダイヤルを□にする



- 液晶モニターがつきます。

2 左/右ボタンで撮影方向を選び、SET ボタンを押す



- SETボタンの代わりに、シャッターボタンを押して撮影することもできます。

3 最初の画像を撮影する

- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。

4 最初の画像に重ね合わせ、次の画像を撮影する




- 画像が重なる部分は、多少ずれても合成時に修正されます。
- 左/右ボタンを押すと撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。

5 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最大26画像まで撮影できます。

6 撮影が終了したらSETボタンを押す



- マニュアルホワイトバランス(p. 104)の場合、では基準となる白データの取り込みができません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。
- テレビと接続しても、液晶モニターの画像をテレビに表示して撮影できません。



- このモードで変更できる設定(p. 218)

📷 動画を撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



動画を撮影するときに使います。記録画素数は、[📷 (320×240)]と[📷 (160×120)]のどちらかを選べます (p. 60)。

1 液晶モニターを開き、撮影モードダイヤルを📷にする



- 液晶モニターがつき、記録可能時間(秒数)が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しする

- 撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニター右上に赤丸が表示されます。

3 撮影を終了するときには、再度シャッターボタンを全押しする

- 1回の最長撮影時間(約15フレーム/秒)は、約3分です。この時間は、被写体、撮影状況などにより変わることがあります。この時間が経過するか、またはCFカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影が終了します。



- 撮影中に正しい撮影秒数が表示されないことがあります。記録される動画には影響ありません。
- お使いのCFカード(書き込み速度が遅い、他のカメラやパソコンで初期化した、撮影/消去を繰り返した、など)によっては、途中で撮影が中断することがあります。
- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したCFカードをお使いください(p. 138)。同梱のCFカードは、そのままお使いになれます。
- 撮影中は、マイクに触れないようにしてください。
- AE、AF、ホワイトバランス、ズーム(画角)は、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。
- 撮影後、CFカードへの記録中はファインダー横のランプが緑色に点滅します。このときは撮影できません。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- 音声は、モノラルで録音されます。
- 動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。
- 動画ファイル(ファイル形式: AVI、圧縮形式: Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です(同梱のDigital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS 8.5以降には標準装備されています)。

🌸 至近距離で撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

AUTO P Tv Av M C1 C2 🌸 📷 📺 📶 📶 📶

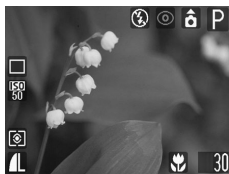
レンズ前面から被写体までの距離が5cm(ワイド端)/25cm(テレ端)~45cmのときは、マクロモードで撮影します。

花やアクセサリなどの小物や特定の部分を拡大して撮影したいときに使います。

1 液晶モニターを開き、DISP.ボタンを押して液晶モニターをつける

2 🌸ボタンを押す

- 液晶モニターに、🌸が表示されます。



- 液晶モニターの🌸が消えるまで🌸ボタンを押すとマクロモードを解除できます。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、ファインダー横のランプが黄色に点灯します。
- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る(p. 56)」と同じです。

マクロ機能の一步進んだ使いかた

マクロ機能は、レンズのズーム機能と合わせて使うと、より特徴のある画面作りが可能になります。たとえば花を撮るとき、ズームを広角側にすると花の背景までピントのあった画像が撮影できますし、望遠側にすると花の背景を効果的にぼかすことができます。



広角側でマクロ撮影



望遠側でマクロ撮影



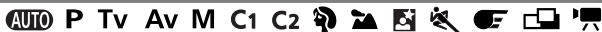
- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 218)をご覧ください。
- マクロモードでは、必ず液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使っても撮影できますが、その場合は撮影範囲がずれます(p. 42)。
- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲は、ワイド端*1で約56×42mm、テレ端*2では、約87×65mmとなります。また、ズーム位置がテレ端とワイド端の間ときは、レンズ前面から被写体までの距離は、テレ端と同じになります。
- ストロボをお使いになると、画像の明るさが適切にならないことがあります。

*1 最も広角側

*2 最も望遠側

セルフタイマーを使って撮る

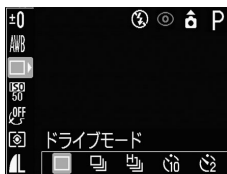
この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影されます。撮影者といっしょに記念写真を撮りたい場合などに使います。すべての撮影モードで使えます。

1 液晶モニターを開き、FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンで□*(ドライブモード)を選ぶ





* 現在の設定が表示されます。


3 左/右ボタンで10または2を選び、FUNC.ボタンを押す

- 10は、シャッターボタンを全押ししてから10秒後に、2は2秒後に、撮影されます。

4 撮影する

- を選んだときは、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅し、セルフタイマー音が鳴りまです。撮影2秒前になるとランプの点滅が速くなります。
- を選んだときは、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが最初から速く点滅し、2秒後に撮影されます。
- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る(p. 56)」と同じです。

セルフタイマーの活用法

シャッターボタンを押した瞬間に、カメラが動いてしまう可能性があります。このとき、セルフタイマーをに設定すると、2秒後に撮影されるので、画像のブレを防ぐことができます。



- セルフタイマー音は、 (マイカメラ)]メニューの[セルフタイマー音]で変更できます(p. 180)。



デジタルズームで撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

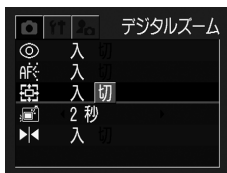
AUTO P Tv Av M C1 C2     

デジタルズームを使うと、下記の倍率に拡大して撮影できます。

4.3倍、5.3倍、6.7倍、8.2倍、11倍

- 1 液晶モニターを開き、DISP.ボタンを押して、液晶モニターをつける
- 2 [ (撮影)]メニューから  (デジタルズーム) を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)



- 3 左/右ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押す

4 ズームレバーを \square 側に押す

- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します。再度、ズームレバーを \square 側に押すと、さらに拡大できます。
- \square 側に押すと、倍率が下がります。



8.2x 光学ズームとデジタルズームを
組み合わせた倍率が表示される

5 撮影する

- 撮影手順は、「**AUTO** オートで撮る (p. 56)」と同じです。



- 液晶モニターが消えているときは、デジタルズームが使えません。






- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。
- デジタルズームを使うと、手ブレしやすくなりますので、三脚をお使いになることをおすすめします。

連続して撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P Tv Av M C1 C2     

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。



	通常連続撮影	液晶モニターで画像を確認しながら連続撮影したいときにおすすめします。ただし、シャッター間隔は  より長くなります。
	高速連続撮影	高速(短いシャッター間隔)で連続撮影したいときにおすすめします。ただし、画像を確認しながらの連続撮影はできません。

1 液晶モニターを開き、FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンで□*(ドライブモード)を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンでまたはを選び、FUNC.ボタンを押す

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタンを離すと撮影が終了します。
 - 連続撮影速度は次のとおりです。
 - のとき…約1.6画像/秒*
 - のとき…約2.4画像/秒*
- * ラージ/ファイン・液晶モニター非表示時
(当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。)



- 内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が多少長くなる場合があります。
- ストロボは使用できませんが、撮影のたびにストロボの充電時間がかかるため撮影間隔は長くなります。

撮影 - 目的に合わせた応用撮影

シャッタースピード、絞り数値を選択するなど、カメラの設定を自由に変えて撮影できます。

各撮影モードで、どのような設定が変更できるかは、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 218)」をご覧ください。



- 設定を変更した後の撮影の手順は、「**AUTO** オートで撮る (p. 56)」をご覧ください。

P プログラムAEで撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 1** 液晶モニターを開き、撮影モードダイヤルを**P**にする



2 撮影する



- 自動的にシャッタースピードと絞り数値が液晶モニターに表示されます。
- シャッタースピードと絞り数値が白字で表示されているときは、適正露出です。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- 適正露出が得られない場合、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。
 - ストロボを使用する
 - ISO感度を変更する
 - 測光方式を変更する

PとAUTOの違い

- PとAUTOは、自動的に決まるシャッタースピードと絞り数値の組み合わせは同じです。
- Pでは、次の機能を使用できますが、AUTOではできません。
 - ・露出補正
 - ・ホワイトバランス
 - ・ISO感度の変更
 - ・ストロボ(常時発光)
 - ・オートフォーカス方式の変更
 - ・色効果の変更
 - ・連続撮影
 - ・測光方式の変更
 - ・マニュアルフォーカス
- 絞り数値とシャッタースピードについて(p. 90)

Tv シャッタースピードを決めて撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

Tv

選んだシャッタースピードに応じて、適正露出になる絞り数値を、カメラが自動的に設定します。シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

1 液晶モニターを開き、撮影モードダイヤルをTvにする



- 液晶モニターに、シャッタースピードが表示されます。

2 左/右ボタンでシャッタースピードを選ぶ



3 撮影する



- シャッタースピードと絞り数値が白字で表示されているときは、適正露出です。



- 絞り数値が赤字で表示されたときは、露出アンダー(露出不足)または露出オーバー(露出過多)です。白字で表示されるまで、左/右ボタンでシャッタースピードを調節してください。
- シャッタースピードが遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラは、シャッタースピードが1.3秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます(ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります)。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- シャッタースピードが遅くなると、手ブレしやすくなります。液晶モニターに📷(手ブレ警告)が表示されたら、三脚を使って撮影してください。
- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは次のように変わります。

	絞り数値	シャッタースピード(秒)
ワイド端	F 2.8	~1/1000
	F 3.2~4.0	~1/1250
	F 4.5~8.0	~1/2000
テレ端	F 4.9	~1/1000
	F 5.6~7.1	~1/1250
	F 8.0	~1/2000

- ストロボ同調最高シャッタースピードは1/500秒です。1/500秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に1/500秒に再設定され、撮影されます(p. 66)。

シャッタースピードの表示

以下のシャッタースピードに設定できます。1/160は1/160秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

1/2000 1/1600 1/1250 1/1000 1/800 1/640 1/500
1/400 1/320 1/250 1/200 1/160 1/125 1/100 1/80
1/60 1/50 1/40 1/30 1/25 1/20 1/15 1/13 1/10
1/8 1/6 1/5 1/4
0"3 0"4 0"5 0"6 0"8 1" 1"3 1"6 2" 2"5 3"2 4"
5" 6" 8" 10" 13" 15"

Av 絞りを決めて撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

Av

絞りとはレンズを通して入ってくる光の量を調整するものです。

絞り数値を小さくする(絞りを開く)と、前景や背景をぼかした画像が撮影できます。絞り数値を大きくする(絞りを閉じる)と、奥行きのある手前から遠くまでピントが合った鮮明な画像が撮影できます。

1 液晶モニターを開き、撮影モードダイヤルをAvにする



- 液晶モニターに、絞り数値が表示されます。

2 左/右ボタンで絞り数値を選ぶ



3 撮影する



- シャッタースピードと絞り数値が白字で表示されているときは、適正露出です。



- シャッタースピードが赤字で表示されるときは、露出アンダー(露出不足)または露出オーバー(露出過多)です。白字で表示されるまで、左/右ボタンで絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります(p. 90)。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- 絞り数値を大きくすると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなります。液晶モニターに📷(手ブレ警告)が表示されたら、三脚を使って撮影してください。
- ストロボ同調シャッタースピードは、1/60~1/500秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調速度に応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

F2.8 F3.2 F3.5 F4.0 F4.5 F4.9 F5.0 F5.6 F6.3
F7.1 F8.0

M 自由にシャッタースピード/絞りを決めて撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

M

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、狙い通りの撮影ができます。花火の撮影など露出の設定が難しいときに使うと便利です。

1 液晶モニターを開き、撮影モードダイヤルをMにする



- 液晶モニターに、シャッタースピードと絞り数値が表示されます。

2 SETボタンを押して、設定項目(シャッタースピードまたは絞り数値)を選ぶ

- SETボタンを押すたびに切り換わります。

3 左/右ボタンでシャッタースピードまたは絞り数値を選ぶ






選べる項目に▶(緑色)が表示されます。

4 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに標準露出*からのずれが表示されます。このずれが±2段を越えると、この液晶モニターに、「-2」または「+2」と赤字で表示されます。

* 設定されている測光方式をもとにAEを行って、標準露出を算出します。



- このモードで変更できる設定(p. 218)
- 露出を変更したい場合は、**SET** ボタンでシャッタースピードか絞り数値を選び、左/右ボタンで数値を変更してください。
- 液晶モニターは、設定した絞り数値、シャッタースピードに応じた明るさで表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や、被写体が暗い場合、ストロボを   (常時発光(赤目緩和))または  (常時発光)にすると、常に明るく表示されます。
- ストロボをお使いの場合は、ストロボの発光量を補正できません。
- 絞り数値とシャッタースピードの関係について(p. 90)

ピントの合わせかたを切り換える

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P Tv Av M C1 C2     

オートフォーカス枠(AF枠)の選択方式を変更して撮影できます。液晶モニターをつけているときは、AF枠が表示されます(p. 44)。

<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	入 (オート選択)	撮影状況に応じて9つのAF枠の中からカメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	切 (中央選択)	9つのAF枠のうち、中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせるのに便利です。

は、液晶モニター上に表示される枠です。

1 [(撮影)]メニューから **AiAF** (AiAF)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 左/右ボタンで[入]または[切]を選ぶ



3 MENUボタンを押す

- MENUボタンの代わりに、シャッターボタンを押して、設定したAF枠の選択方式で撮影することもできます。






- デジタルズーム使用時は、中央選択になります。

測光方式を切り換える

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

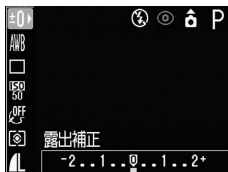
P Tv Av M C1 C2

測光方式を切り換えて撮影できます。

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。被写体の位置、明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出にします。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

撮影・目的に合わせた応用撮影

1 FUNC.ボタンを押す



2 上/下ボタンで *(評価測光) を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで測光方式を選ぶ



4 FUNC.ボタンを押す

5 撮影する



- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 218)をご覧ください。

露出を補正する

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

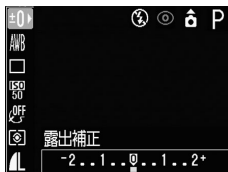
P Tv Av C1 C2       

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうようなときなどに露出を調整します。

1 FUNC.ボタンを押す



2 上/下ボタンで * (露出補正) を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで補正量を調整する



- 補正量は、-2～+2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 液晶モニターがついている場合は、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

- 露出補正を解除するときは、左/右ボタンで補正量を0に戻します。

5 撮影する

露出補正のしかた

このカメラは、適切な明るさで撮影できるように、自動で露出を補正しています。しかし、撮影状況によっては、実際よりも明るく写ったり、暗く写ってしまうことがあります。このようなときは、手動で露出を補正してください。



露出不足(アンダー)

全体が黒っぽく写ります。そのため、白いものはグレーのように写ります。白っぽい被写体や逆光で撮影すると、露出アンダーになることがあります。十側に補正してください。



適切な露出



露光過多(オーバー)








全体が白っぽく写ります。そのため、黒いものはグレーのように写ります。黒っぽい被写体や暗い場所で撮影すると、露出オーバーになることがあります。一側に補正してください。

色合いを調整する(ホワイトバランス)

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P Tv Av M C1 C2       

撮影時の光源に合わせて色調(ホワイトバランス)を設定すると、その光源に合った適正な色に調整できます。

	オート	カメラが撮影状況に合わせて、自動的にホワイトバランスを調整します。
	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに設定します。
	くもり	曇天や日陰、薄暮などで撮影するときに設定します。
	電球	電球、電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	マニュアル	白紙などを使って、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定します。

1 FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンで *(オート)を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで設定したいホワイトバランスを選ぶ



- (マニュアル)について(p. 104)
- 液晶モニターがついている場合は、液晶モニターの表示画像で設定を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

5 撮影する



- 色効果が (セピア)、 (白黒) では、ホワイトバランスを設定できません。

● マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙や布など、白を基調としたものをカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。特に次のような場合、AWB(オート)では、ホワイトバランスを調整できないことがありますので、●(マニュアル)で白データを取り込んでから、撮影してください。

- 至近距離(マクロ)で撮影するとき
- 単一な色の被写体(空、海、森など)を撮影するとき
- 水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンでAWB*(オート)を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで●(マニュアル)を選ぶ



4 カメラを白い紙や布に向け、SET ボタンを押す




- 液晶モニターを使う場合は、中央の枠いっぱい、またファインダーを使う場合は、画面いっぱいに白い紙や布が表示されるよう構図を決めてから、**SET** ボタンを押します。**SET** ボタンを押すと、白データが取り込まれます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

5 FUNC. ボタンを押す

6 撮影する









- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 218)をご覧ください。
- 撮影モードを**P**にし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 液晶モニターを使い、ズームを望遠側の位置にすることをおすすめします。このとき、デジタルズームは[切]にしてください。
- では、白データの取り込みはできませんので、あらかじめ、他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスを設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
 - ストロボ
ストロボは、常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。マニュアルホワイトバランスを設定する際に、ストロボが赤目緩和オート/オートに設定されていて、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
 - ISO感度
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、設定リセットを行っても解除されません(p. 182)。

色効果を切り換える

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P Tv Av M C1 C2       

色効果を切り換えると、画像の印象を変えられます。

	効果切	通常は、この設定で撮影します。
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりとした色合いで撮影します。
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いで撮影します。
	ソフト	画像の輪郭を抑えて撮影します。
	セピア	セピア色で撮影します。
	白黒	白黒で撮影します。

1 FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンで * (効果切) を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで設定したい色効果を選ぶ



- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

5 撮影する

ISO感度を変更する

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P Tv Av M C1 C2

暗いところで手ブレを抑えたり、ストロボをオフにして撮影したいとき、あるいはシャッタースピードを速くしたいときには、ISO感度を上げます。

1 FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンで ISO* (ISO感度) を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで設定したい感度を選ぶ



- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

5 撮影する

ISO感度

ISO感度とは、光を感じる能力を数値化したものです。数値が高いほど感度が高くなります。ISO感度が高いと、暗い室内や屋外でストロボを使わずに撮影でき、また手ブレしにくくなります。例えば、ストロボ撮影禁止の場所で撮影するとき便利です。その場の光を生かした雰囲気のある仕上がりになります。



ISO : 50相当



ISO : 400相当



- ISO感度を上げすぎると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- AUTOを選択すると、最適な画質になる感度に設定されますが、撮影限界に達したときに自動的に感度が上がります。また、被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合も自動的に感度が上がります。

ストロボ発光量を補正する

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

M

撮影モードダイヤルが**M**のときは、ストロボの発光量を3段階から選択して撮影できます。

ストロボの発光量を抑えると、ストロボ撮影による影が出にくくなりますが、広い範囲の撮影では光量不足で暗く写ってしまいます。被写体までの距離などに応じて発光量を補正してください。

1 FUNC.ボタンを押す

2 上/下ボタンで  (ストロボ発光量) を選ぶ



3 左/右ボタンで発光量を調整する

- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

5 撮影する

ピントが合いにくい被写体を撮る

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます



次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体

これらの被写体を撮影する場合は、その被写体とほぼ同じ距離にある別の被写体でフォーカスロックで撮影するか、マニュアルフォーカスで(手動でピントを合わせて)撮影してください。

フォーカスロックで撮る

- 1** DISP. ボタンを押して液晶モニターをつける
- 2** ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、AF枠に合わせる
- 3** シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる
 - このときAEもロックされます。撮影したい被写体と、その被写体と同じ距離にあるフォーカスロックに用いた被写体との輝度の差が大きいと、適正露出が得られない場合があります。この場合は、AFロックで撮影してください。

4 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影する

AFロックで撮る

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつける

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせ、そのままMFボタンを押す

- 液晶モニターに**MF**が表示されます。
- シャッターボタン、**MF**ボタンを離しても、フォーカスは固定されます。
- 再度**MF**ボタンを押すと、フォーカスロックは解除されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影する



- **AUTO**、のときはAFロックはできません。



- AFロックは、シャッターボタンを離して構図を決められるので便利です。また、撮影後もAFロックされたままなので、同じピントで次の撮影ができます。
- ガラス越しの被写体は、できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みの少ない状態で撮影してください。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

1 DISP. ボタンを押して液晶モニターをつける

2 MF ボタンを何回か押して、MF を表示する



MFインジケータ


- MFインジケータが表示されます。
- MFインジケータはピント位置の目安です。表示される数値を目安にしてください。
- Tv、Av、M のときは、SET ボタンを押すたびに、シャッタースピード、絞り数値、MF の選択を切り換えられます。(選択できる項目の左に▶(緑色)が表示されます。)

3 左/右ボタンでピントを合わせる




- 液晶モニター内の被写体をはっきり見えるまで、左/右ボタンでピントを合わせてください。
- 再度MF ボタンを押すと、マニュアルフォーカスは解除されます。

4 撮影する



-  のときは、マニュアルフォーカスはできません。



- [ (撮影)]メニューの  (MF拡大表示)が[入]のときは、AF枠範囲が拡大表示*されます。
 - * 、デジタルズーム、テレビに表示しているときは、拡大表示されません。
 - * 拡大表示しない設定にもできます(p. 172)。
- マニュアルフォーカス時は、AF枠は中央1点に固定されます。
- マニュアルフォーカス時は、マクロモードの撮影距離 [5cm(ワイド端)/25cm(テレ端)]~45cm]もフォーカスできます。この場合、MFインジケータの単位は細くなります。
- MFインジケータの表示単位を変更できます(p. 178)。

C1 C2 カスタム登録する

この操作は、以下のモードダイヤルで設定できます

P Tv Av M C1 C2

よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**(カスタムモード)に登録しておくことができます。このカメラは「**C1**」と「**C2**」、2つのモードが用意されており、2種類のカスタム登録ができます。必要なとき、モードダイヤルを**C1**または**C2**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定(マクロやドライブモードなど)も保持されます。

C1/C2に登録できる設定

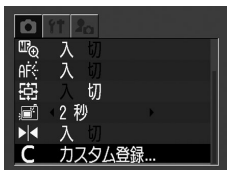
- 撮影モード(**P**、**Tv**、**Av**、**M**)
- **P**、**Tv**、**Av**、**M**で設定可能な項目(p. 218)
- 撮影メニューの設定
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置

1 モードダイヤルを**P**、**Tv**、**Av**、**M**のいずれかにする

2 登録したい内容を設定する

3 [](撮影)]メニューから [C](カスタム登録)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)



4 C1またはC2を選び、SETボタンを押す

- 登録先のカスタムモード(C1またはC2)を選びます。

5 MENUボタンを押す



- C1またはC2に登録した設定の一部(撮影モード以外)を変更し、再度登録し直すときは、手順1で撮影モードダイヤルをC1またはC2にします。
- 設定内容は、他の撮影モードに反映されません。
- 登録内容をリセットできます(p. 182)。

縦横自動回転を設定する

このカメラにはSIセンサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。この機能を入/切できます。

1 [設定]メニューから縦横自動回転を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)



2 [入]を選び、MENUボタンを押す

- [入]に設定すると、液晶モニター表示(情報表示あり)のとき、画面右上にカメラの向きを示すアイコンが表示されます。

	通常
	右が下
	左が下



- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン()を確認し、正しく天地を判断しない場合は、[切]にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。



- このカメラは、SIセンサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適な露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入/切に関係なく有効です。
- カメラの縦・横の向きを変えると、その向きを検出する機構により、音がすることがありますが、故障ではありません。

ファイル番号をリセットする

ファイル番号の設定方法を選びます。

入	新しいCFカードを入れるたびに、ファイル番号が初期値(100-0001)に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後に撮影した画像のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。

1 [M] (設定) メニューから (番号リセット機能) を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)



2 左/右ボタンで[入]または[切]を選ぶ

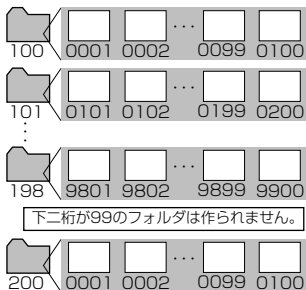
3 MENUボタンを押す



- 番号リセット機能を[切]にして撮影すると、ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。

ファイル番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001～9900までのファイル番号が割り振られ、各フォルダには、100～998までの番号が割り振られます。（下2桁が99のフォルダは作られません。）



ファイル数について

ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。
なお、連続撮影やスティッチアシストモードで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。また、他のカメラで撮影したり、パソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に101画像以上を保存できますが、2001以上の画像が保存されているフォルダ内の画像は、このカメラで再生できませんのでご注意ください。

再生

1 画像ずつ見る(シングル再生)

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

1 液晶モニターを開く

- 液晶モニターの向きは、自由に調整できます。

2 モードスイッチを▶側にスライドする

- 最後に撮影した画像が表示されます(シングル再生)。



3 左/右ボタンで表示する画像を切り換える

- 左ボタンで前の画像、右ボタンで次の画像が表示されます。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。



- DISP.ボタンを押すと、表示されている画像の情報が表示されます(p. 37)。
- 🔍ボタンを押すと、表示されている画像を簡単に消去できます(p. 136)。

Q 拡大して見る

シングル再生時、表示している画像を最大で約10倍に拡大表示できます。

1 モードスイッチを▶側にスライドする

2 ズームレバーをQ側に押す



表示位置の目安

- 左/右/上/下ボタンで表示位置を変更できます。
- SET ボタンを押しながらズームレバーをQ側に押すと、画像が約2.5倍 → 約5倍 → 約10倍の順に拡大表示されます。

拡大表示を解除する

1 ズームレバーを◻側に押す



- 動画、インデックス再生時は拡大表示できません。



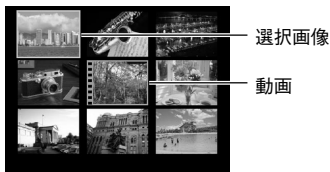
- 撮影直後に液晶モニターに表示される画像も、拡大して見ることができます(p. 58)。

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

撮影した画像が9画像ずつまとめて表示されます。

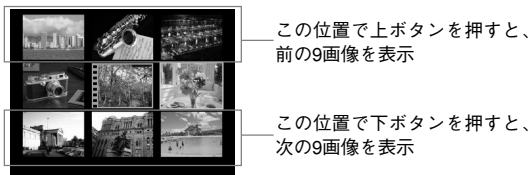
1 モードスイッチを▶側にスライドする

2 ズームレバーを☒側に押す



● 9画像ずつまとめて表示されます。(インデックス再生)

3 左/右/上/下ボタンで選択画像を切り換える



4 ズームレバーをQ側に押す

● インデックス再生が終了し、シングル再生に戻ります。



● **DISP.** ボタンを押すと、選択している画像の情報が表示されます(p. 37)。

9画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生時、9画像ずつ表示します。

1 インデックス再生時(p. 124)、ズームレバーを
☒側に押す

2 画像を切り換える

- 左/右ボタンで、前または次の9画像が表示されます。
- **SET**ボタンを押しながら、左/右ボタンで、最初または最後の9画像が表示されます。



ジャンプバー

3 ズームレバーをQ側に押す

- ジャンプバーが消え、インデックス再生に戻ります。
- もう一度、ズームレバーをQ側に押すと、シングル再生に戻ります。

動画を見る

📷で撮影した動画が再生されます。

1 モードスイッチを▶側にスライドする

- インデックス再生のときは、動画は再生されません。

2 左/右ボタンで動画を選び、SET ボタンを押す



- (SET) 📷が表示されている画像が動画です。
- 動画再生パネルが表示されます。

3 左/右ボタンで▶(再生)を選び、SET ボタンを押す



動画再生パネル






音量レベル

- 動画と音声が再生されます。
- 上/下ボタンで音量を調節できます。
- 再生が終了すると、最後のフレームが表示されたままで停止します。その状態でSET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。再度SET ボタンを押すと、最初のフレームから再生されます。

再生の一時停止/再開

- **SET** ボタンを押すと再生を一時停止します。再度 **SET** ボタンを押すと、再生を続けます。

画像送り/戻し

- 左/右ボタンで次のいずれかの操作を選び、**SET** ボタンを押します。
 -  (終了) : シングル再生に戻る
 -  (先頭フレーム) : 最初のフレームを表示
 -  (フレーム戻し) : フレームを戻す (**SET** ボタンを押し続けると巻き戻ります。)
 -  (フレーム送り) : フレームを送る (**SET** ボタンを押し続けると早送りします。)
 -  (最終フレーム) : 最後のフレームを表示



- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム(コマ)落ちしたり、音声が途切れることがあります。



- 設定メニューでも、動画の再生音量を調節できます (p. 175)。
- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください。

動画を編集する

撮影した動画の前部、後部の不要な部分を削除できます。

1 編集したい動画を選び、SET ボタンを押す

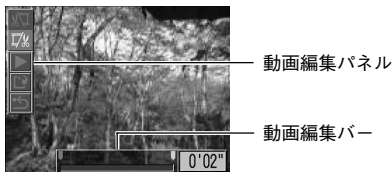
- 動画を見る (p. 126)




2 左/右ボタンで (編集) を選び、SET ボタンを押す



- 動画編集パネルと、動画編集バーが表示されます。

3 上/下ボタンで編集方法を選ぶ



-  (前部を削除) : 動画の前部を削除
-  (後部を削除) : 動画の後部を削除
-  (終了) : 動画編集を中止し、動画再生パネルに戻る

4 左/右ボタンで編集位置を選ぶ



5 上/下ボタンで▶(再生)を選び、SETボタンを押す

- 仮編集された動画が再生されます。
- 再生中にSETボタンを押すと、再生が停止します。

6 上/下ボタンで🔒(保存)を選び、SETボタンを押す



- 🔒 を選ぶと、編集内容を保存せずにシングル再生に戻ります。

7 左/右ボタンで[上書き保存]または[新規保存]を選び、SET ボタンを押す



- [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- [新規保存]：編集した画像に新しいファイル名をつけて保存されます。編集前のデータは残ります。
- CFカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。



- プロテクトされている動画は編集できません。
- 編集した動画を保存するとき、約3分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した動画を保存できないことがありますので、動画を編集するときは未使用の単3形アルカリ電池かフル充電の単3形ニッケル水素電池、あるいは別売のACアダプターキット ACK600の利用をおすすめします(p. 190)。



- 編集前の長さが2秒以上の動画を編集できます。
- 編集した動画の最少時間は1秒です。

回転して表示する

時計方向に90度、270度に回転して表示されます。



0度(元の画像)



90度



270度

1 [▶(再生)]メニューからⓂ(回転)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 左/右ボタンで回転したい画像を選び、SETボタンを押す

- SETボタンを押すたびに、90度→270度→元の画像が表示されます。

3 MENUボタンを押す

- メニュー画面表示に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- 動画は回転表示できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。



- 画像を回転したあとで、拡大することもできます(p. 123)。

音声メモを付ける

再生中(シングル再生、インデックス再生、拡大再生)に、再生中の画像に最長60秒の音声メモを付けることができます。音声データはWAVE形式で保存されます。

1 [▶(再生)]メニューから🗣(音声メモ)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)



- 🗣が表示されます。

2 左/右ボタンで音声メモを付けたい画像を選び、SETボタンを押す



— 音声メモパネル



- 音声メモパネルが表示されます。

3 左/右ボタンで🗣を選び、SETボタンを押す


- 録音が始まり、録音時間が表示されます。カメラのマイクに向かって音声を発してください。
- 停止するときはSETボタンを押します。引き続き録音をするときは、もう一度SETボタンを押します。

- 1画像につき、合計が60秒に達するまで何度でも録音を追加することができます。

音声メモの再生

- 前ページ手順2で、を選びます。音声メモの付いた画像にはマークが表示されています。
- 停止するときは**SET**ボタンを押します。引き続き再生するときは、もう一度**SET**ボタンを押します。上/下ボタンで、音量を調節できます。

音声メモの消去

- 前ページ手順2で、を選びます。

音声メモ設定の終了

- **MENU**ボタンを押します。



- 動画には音声メモを付けられません。
- 画像に互換性のない音声ファイルが添付されている場合、録音、再生はできません。録音、再生をしようとすると、「互換性のないWAVEです」のメッセージが表示されます。なお、不明な音声データはこのカメラで削除できません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません (p. 135)。



- 設定メニューでも、音声メモの音量を調節できます (p. 175)。

画像を自動再生する(オートプレイ)

CFカード内のすべての画像が自動で再生されます(オートプレイ)。再生間隔は、約3秒です。

1 [▶(再生)]メニューから⏮(オートプレイ)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)
- メニューから選ぶと、オートプレイが開始されます。
- オートプレイ中も、シングル再生中と同様に左/右ボタンで画像を送ることができます。

オートプレイの一時停止/再開

- オートプレイ中に**SET** ボタンを押すと、オートプレイが停止されます。もう一度**SET** ボタンを押すと、オートプレイが再開されます。

オートプレイの終了

- オートプレイ中に、**MENU** ボタンを押すと、オートプレイが終了します。



- 画像によっては、再生間隔が異なることがあります。
- 動画は記録した時間で再生されます。
- オートプレイ中は、節電機能は働きません(p. 32)。

画像をプロテクトする

大切な画像を誤って消去しないようプロテクトすることができます。


1 [▶(再生)]メニューから(プロテクト)を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 左/右ボタンでプロテクトしたい画像を選び、**SET** ボタンを押す



プロテクトマーク

- プロテクトした画像には、が表示されます。
- プロテクトした画像で**SET** ボタンを押すと、プロテクトが解除されます。
- シングル再生とインデックス再生を切り換えても指定できます(p. 124)。

3 **MENU** ボタンを押す

- メニュー画面に戻ります。もう一度**MENU** ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- CFカードを初期化(p.138)すると、プロテクトした画像も消去されます。CFカードを初期化するときは、CFカード上の記録内容を十分に確認してから行ってください。

消去



- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

1 画像ずつ消去する

1 左/右ボタンで消去したい画像を選び、 ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。



2 左/右ボタンで[消去]を選び、**SET** ボタンを押す

- 消去を取り消すときは、[キャンセル]を選び、**SET** ボタンを押します。

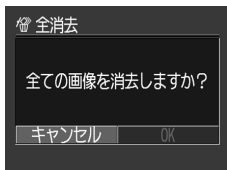


- プロテクトされている画像は消去できません(p. 135)。

全画像を消去する

1 [再生]メニューから [全消去] を選び、**SET** ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。



2 左/右ボタンで [OK] を選び、**SET** ボタンを押す

- 消去を取り消すときは、[キャンセル]を選び、**SET** ボタンを押します。



- プロテクトされている画像は消去できません(p. 135)。

CFカードを初期化する

新しいCFカードをお使いになるときや、CFカード内の画像だけでなく、他のデータもすべて削除したいときは、CFカードを初期化します。

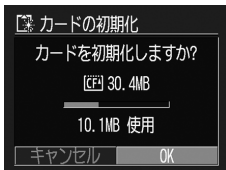


- CFカードを初期化すると、CFカードの記録内容はすべて消去されます。プロテクトをかけた画像も消去されますので、あらかじめ記録内容を十分に確認してから行ってください。

1 [設定]メニューから[カードの初期化]を選び、SETボタンを押す



2 左/右ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押す



- 初期化を中止するときは、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。
- 初期化するとき、お使いのCFカードのラベルに記載された容量よりも小さい数値が表示されますが、CFカードやカメラの故障ではありません。




- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のCFカードでも正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ってから、CFカードを入れ直し、再度初期化してください。

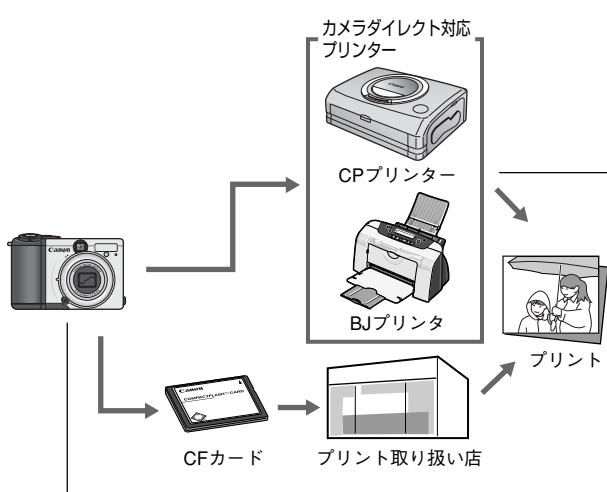
プリント

プリントについて

このカメラをカメラダイレクト対応プリンター*1とケーブルで直接つないで、CFカード内の画像をカメラのボタン操作だけで簡単にプリントできます。また、あらかじめカメラでプリントする画像や枚数などを設定(DPOF*2プリント設定)しておけば、CFカードをプリント取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントされるので、大変便利です。

*1 カメラダイレクト対応のCPプリンターには、ダイレクトプリントマークが付いています。

*2 Digital Print Order Formatの略



このカメラで使えるカメラダイレクト対応CPプリンターについては、システムマップでご確認ください。カメラダイレクト対応BJプリンターは、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページやBJプリンター総合カタログでご確認いただくか、キヤノン販売お客様ご相談センターにお問い合わせください。

カメラダイレクト対応プリンターでのプリント

- カメラとプリンターの接続
- プリント設定(DPOFプリント指定以外)
- プリント



ダイレクトプリントユーザーガイド(別冊)をご覧ください。

DPOFプリント指定

- プリントしたい画像を選ぶ(p. 142)



- プリント枚数を決める(p. 143)



- プリントスタイルを決める(p. 145)
 - スタンダード/インデックス/両方
 - 日付 入/切
 - ファイル番号

プリント方法は、ダイレクトプリントユーザーガイド(別冊)をご覧ください。

DPOF送信指定

- パソコンに取り込む画像を決める(p. 148)

DPOFのプリント指定

CFカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで指定できます。カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)や、カメラダイレクト対応のBJプリンタに一括でプリントするときや、プリント取り扱い店に注文するとき大変便利です。

プリンターからプリントする方法は、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。



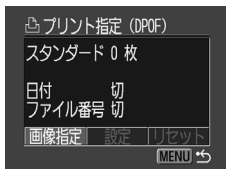
- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、▲が表示されます。このカメラでそれらのプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は、プリント指定できません。

プリントする画像を選ぶ

1 [再生]メニューから [プリント指定] を選び、**SET** ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 左/右ボタンで [画像指定] を選び、**SET** ボタンを押す



3 プリントする画像を選ぶ

1画像ずつ指定するとき

- プリントタイプ(p. 145)が[スタンダード]/[両方]の場合、左/右ボタンで画像を選びます。上/下ボタンで、プリント枚数が指定できます(最大99枚まで)。
- プリントタイプ(p. 145)が[インデックス]の場合、左/右ボタンで画像を選び、上/下ボタンで、指定、指定解除を行います。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- インデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。

CFカード内のすべての画像を指定するとき

- インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- **SET** ボタンを押したあとで、上/下ボタンで[全画像指定]を選び、再度**SET** ボタンを押すと、すべての画像に対して1枚ずつプリント指定されます。
- プリントタイプが[スタンダード]/[両方]の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。[インデックス]の場合は、プリント指定の解除ができます。変更方法は、手順3のはじめからもう一度ご覧ください。
- [全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます。



4 MENUボタンを押す



- 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- 最大998画像まで設定できます。
- 手順3でズームレバーを押すと、シングル/インデックス (3画像)表示を切り換えて、画像を選べます。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、プリント枚数は設定できますが、[インデックス]の場合は設定できません。[インデックス]では1枚のみプリントされます。
- 同梱されているソフトウェアでもプリント指定ができます。

プリントスタイルを設定する

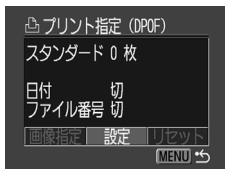
次の内容を設定できます。

🖨️ プリント タイプ	🖨️ スタANDARD	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	📄 インデックス	画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
	🖨️ 📄 両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
🕒 日付		日付を入れてプリントします。
📄 ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

1 [▶ (再生)]メニューから 🖨️ (プリント指定)を選び、SETボタンを押す

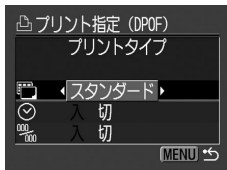
- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 左/右ボタンで[設定]を選び、SETボタンを押す



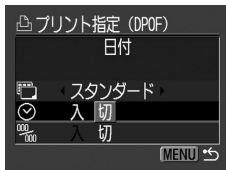
3 上/下ボタンで 🖨️ (プリントタイプ)、🕒 (日付)、📄 (ファイル番号)のいずれかを選ぶ

4 左/右ボタンで設定を選ぶ



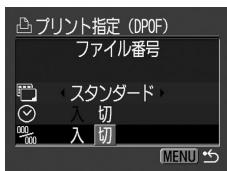
☑ (プリントタイプ)

[標準]、[インデックス]、
[両方]のいずれかを選びます。



☑ 日付

[入]または[切]を選びます。



☑ ファイル番号

[入]または[切]を選びます。

5 MENU ボタンを押す

- 設定が終了し、プリント指定メニューに戻ります。



- [プリントタイプ]が[インデックス]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定することはできません。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できますが、インデックスプリントには、[ファイル番号]のみプリントされます。



- 日付は、[日付/時刻]で設定した日付スタイルでプリントされます(p. 26)。

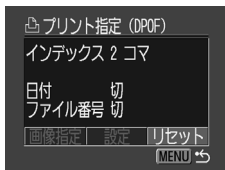
プリントの設定をリセットする

画像のプリント指定をすべて解除し、プリントタイプを[スタンダード]、日付を[切]、ファイル番号を[切]に戻します。

1 [再生]メニューから [プリント指定] を選び、SET ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

2 左/右ボタンで [リセット] を選び、SET ボタンを押す



3 左/右ボタンで [OK] を選び、SET ボタンを押す

- リセットを取り消すときは、[キャンセル]を選び、SET ボタンを押します。

画像の送信設定(DPOF送信指定)

パソコンに取り込む画像を、あらかじめカメラ側で指定しておくことができます。

この指定は、DPOF(Digital Print Order Format)に準拠しています。



- DPOF対応の他のカメラで送信指定されたCFカードの場合、▲が表示されます。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

送信する画像を選ぶ

- 1** [▶ (再生)]メニューから [送信指定] を選び、**SET** ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた(p. 47)

- 2** 左/右ボタンで [画像指定] を選び、**SET** ボタンを押す



- [リセット]を選ぶと、送信指定された画像をすべて解除します。

3 送信する画像を選ぶ

1 画像ずつ指定するとき

- 左/右ボタンで画像を選び、上/下ボタンで、指定、指定解除を設定します。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- ズームレバーを \blacksquare 側に押し、インデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。



CFカード内のすべての画像を指定するとき

- ズームレバーを \blacksquare 側に押し、インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- **SET** ボタンを押した後、上/下ボタンで[全画像指定]を選び、再度**SET** ボタンを押すと、すべての画像が指定されます([全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます)。
- [全画像指定]または[全指定解除]を行ったあと、左/右ボタンで画像を選び、上/下ボタンで設定変更できます。



4 MENU ボタンを押す

- 送信指定が終了し、送信指定メニューに戻ります。



- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。

パソコンへの画像の取り込み

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。

- **カメラとパソコンを接続して画像を取り込む**
カメラとパソコンを接続するだけで、簡単に画像を取り込めます。
- **CFカードから直接画像を取り込む**
ノートパソコンやカードリーダーをお使いの場合は、CFカードから、直接、パソコンに画像を取り込めます。

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

同梱のソフトウェアをインストールしたあと、そのソフトウェアで、簡単に画像を取り込み、プリントしたり、メールに添付して送付できます。

重要

以下のOSをお使いの場合、カメラとパソコンを接続する前に、必ず同梱のCanon Digital Camera Solution Diskに収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。

Windows 98(Second Editionを含む) /
Windows 2000 / Windows Me /
Mac OS 9.0 ~ 9.2



- ドライバとソフトウェアをインストールする前にカメラとパソコンを接続すると、カメラが正しく認識されません。このような場合には、ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」をご覧ください。

1 Canon Digital Camera Solution Diskから、 ドライバとソフトウェアをインストールする

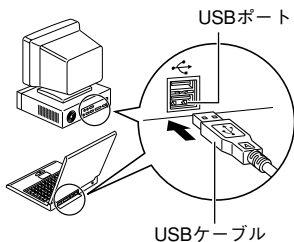
- パソコンに必要なシステム構成やインストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

2 同梱のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する

- USB接続の場合、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- USBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。

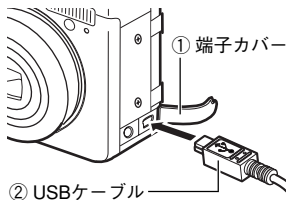
3 カメラのモードスイッチを▶側にスライドし、 パワーランプが点灯するまで、メインスイッチ を押す

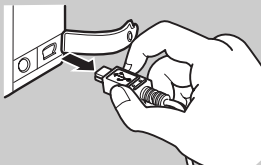
- 液晶モニターに再生画面が表示されます。
- パソコンへの接続が完了すると、液晶モニターは消え、パワーランプが緑色に点灯します。



DIGITAL端子

- ① 端子カバーは、突起部に爪をかけて開きます。
- ② カチッと音がするまで押し込みます。





カメラの**DIGITAL**端子からケーブルを取り外すときは、必ず、コネクタの側面を持って、取り外してください。

このあとの操作については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

ソフトウェアをインストールしないで画像を取り込む (Windows XP、Mac OS X(10.1/10.2)のみ)

Windows XPまたはMac OS X(10.1/10.2)をお使いの場合、OSに標準で組み込まれているソフトウェアを使用するので、Canon Digital Camera Solution Diskからソフトウェアをインストールしなくても、画像(JPEG形式のみ)を取り込むことができます。会社やお友達のパソコンに画像を取り込むときに便利です。ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳細は、同梱の「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

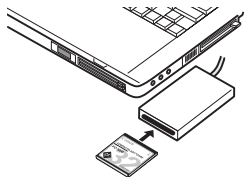
- 1** 同梱のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する
(p. 151 手順2を参照してください。)
- 2** パソコンに表示されるメッセージにしたがって画像を取り込む



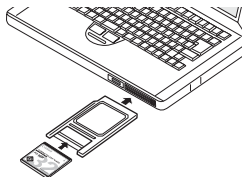
- カメラをパソコンに接続する場合、カメラの電源にはACアダプターキット ACK600(別売)をお使いになることをおすすめします(p. 190)。
- USB 2.0対応ボードとの接続は、すべての動作を保証するものではありません。

CFカードから直接画像を取り込む

- 1 カメラからCFカードを取り出し、パソコンに接続されたCFカードリーダーに入れる



- PCカードリーダーまたはPCカードスロットをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター(別売)に差し込んでから、入れてください。



- 2 CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開く

- OSによっては、自動的に画面が開きます。

- 3 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーする

- 画像は、CFカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ(xxxは100~998の数字が入ります)にあります(p. 121)。

テレビを使って撮影/再生する

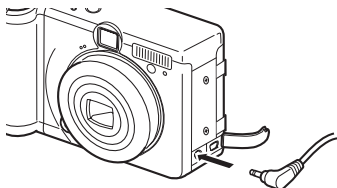
同梱のAVケーブル AVC-DC100を使用すると、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。

- ビデオ出力形式は、日本国内で採用しているNTSC方式に設定されています。

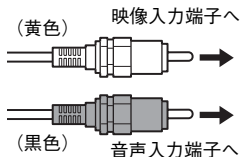
1 カメラの電源を切る(p. 31)

- テレビの電源も切ってください。

2 カメラの端子にAVケーブルを接続する



3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する




4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる(p. 31)

- 画像がテレビに表示されます。通常の撮影や再生ができます。
- 撮影時、テレビに画像が表示されていないときは、**DISP.**ボタンを押します。



- テレビ表示中は、液晶モニターに画像は表示されません。
- 海外で使うとき(p. 196)
- AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
- では使用できません。

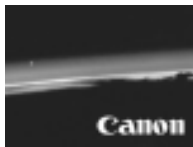
カメラを自分好みにする(マイカメラ機能)

カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類から選べます。

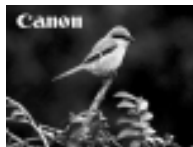
例：起動画面



[1]



[2]

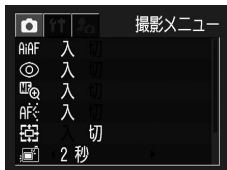


[3]

初期設定時は、マイカメラコンテンツの[2]には、SF関連、[3]には動物関連のコンテンツが入っています。

マイカメラコンテンツを変更する

- 1 メインスイッチを押して、電源を入れる
(p. 31)
- 2 MENUボタンを押す



- [撮影] (撮影)メニューまたは[再生] (再生)メニューが表示されます。

3 左/右ボタンで[マイカメラ]メニューを選ぶ



4 上/下ボタンでメニュー項目を選ぶ

5 左/右ボタンで設定したいコンテンツを選ぶ



6 MENUボタンを押す

- MENUボタンを押すとメニューが終了し、設定が有効になります。
- 撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。



- 手順4で[セット]を選ぶと、[起動画面]、[起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]のすべてを同じテーマで選択できます。
- [起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]を[1]、[2]、[3] (入)]に設定していても、[1] (設定)メニューの[消音]が[入]になっているときは、電子音が鳴りません(p. 175)。

マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの [M] [R] には、CFカードに記録してある画像、新たに録音した音声をマイカメラコンテンツとして、その場ですぐにカメラに登録できます。また、同梱のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、CANON IMAGE GATEWAY (オンラインフォトサービス(p. 165))から、同梱のソフトウェアを通じて、コンテンツをお使いのパソコンにダウンロードし、それをカメラに登録することもできます。

コンテンツを登録できる項目は、次のとおりです。

- 起動画面
- 起動音
- 操作音
- セルフタイマー音
- シャッター音

CFカード内の画像や音声を登録する

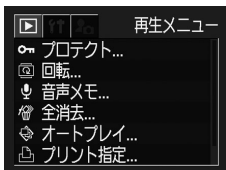
1 メインスイッチを押して、電源を入れる
(p. 31)

2 モードスイッチを [▶] に合わせる

- 再生モードになります。

3 MENU ボタンを押す

- [▶] (再生)メニューが表示されます。



4 左/右ボタンで[マイカメラ]メニューを選ぶ



5 上/下ボタンで登録したいメニュー項目を選ぶ

6 左/右ボタンで[DISP]または[起]を選ぶ

- [DISP] [起]が表示されます。



7 DISP.ボタンを押す



[起動画面] → 手順8a、9a

[起動音] [シャッター音] [操作音] [セルフタイマー音]

→ 手順8b、9b

8a 左/右ボタンで登録したい画面を選ぶ



9a SET ボタンを押す

8b 左/右ボタンで (録音) を選び、SET ボタンを押す



- 録音が始まります。
- 一定時間が経過すると、自動的に録音が終了されます。
起動音：1秒 操作音：0.3秒
セルフタイマー音：2秒 シャッター音：0.3秒

9b 左/右ボタンで (登録) を選ぶ

10 左/右ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押す



- 動画、音声メモ機能(p. 132)で記録した音声は、マイカメラコンテンツに登録できません。
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。





マイカメラコンテンツのファイルフォーマット

マイカメラコンテンツは、以下のファイルフォーマットにしたがっていることが必要です。ただし、このカメラで撮影したCFカード内の画像は、下記フォーマットに関係なく、登録できます。

- 起動画面
 - 記録画像フォーマット JPEG (ベースライン JPEG)
 - サンプリングレート 4 : 2 : 0 または 4 : 2 : 2
 - 画像サイズ 320×240画素
 - ファイル容量 20KB以下

● 起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

- 記録フォーマット WAVE(モノラル)
- 量子化ビット 8bit
- サンプリング周波数 11.025kHzまたは8.000kHz
- 記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
 起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
 操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
 セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
 シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

上記フォーマット以外のファイルは、カメラに登録できません。

例えば、[セルフタイマー音]で、「はい、チーズ!」などの掛け声を登録すると、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声し、また他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば、目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、同梱のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

オンラインサービスの利用

CANON iIMAGE GATEWAYを利用する

CANON iIMAGE GATEWAYは、キャノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録(無料)されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

<http://www.imagegateway.net/>

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。
- * インターネットに接続できる環境(プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み)が必要です。
- * プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iIMAGE GATEWAYの 会員になるとできること

— 次のサービスをご利用いただけます —

バージョンアップなど

サポート情報の電子メール配信サービス(無料)

登録されたカメラのファームウェア/ソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報を、ご希望の方にお知らせいたします。

オンラインアルバムサービス(無料)

- 撮影した静止画や動画* を CANON IMAGE GATEWAY にアップロードし、ネット上にご自分のアルバムを作成できます。
- 画像に付けたコメントや音声もアップロードできますので、オリジナルのアルバムをお楽しみいただけます。



* 動画をアップロードするには、追加ソフトウェア(無料)を CANON IMAGE GATEWAY からダウンロードし、事前にパソコンにインストールすることが必要です。

携帯電話アルバム通知・閲覧サービス(無料)

- お友達やご家族のパソコンや携帯電話に、作成したアルバムの URL をメールで知らせることができます。オンラインアルバムは、メールで通知された URL からパソコンや携帯電話で直接見られるので、楽しい思い出を共有できます*(パソコンからは動画も閲覧できます)。
- 携帯電話は、お使いの機種に合わせて画像の大きさや色数が自動的に調整されます。



* 携帯電話の通信料金は使用された方のご負担となります。また、カラー表示可能な携帯電話をご利用ください。

ホームプリンティングサービス(無料)

画面上の印刷ボタンを押すだけで、オンラインアルバム上のお好きな画像を、対応のキヤノン製プリンターで印刷できます*。ご自身だけでなく、お知らせメールを受けたお友達やご家族の方にもご利用いただけます。

* ご利用の際には、プラグインモジュールを CANON IMAGE GATEWAY からダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。

プリント注文サービス(有料)

- オンラインアルバムの画像は、インターネットから24時間、いつでもプリント注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- プリントサイズはDP判、L判、2L判、A4判、A3判、ポストカードサイズに対応しています。
- プリントは、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。
- 携帯電話からもプリントを注文できます。



オリジナル写真集(マイブック)作成サービス(有料)

- CANON IMAGE GATEWAYのオンラインアルバムをプリント/製本して、本格的なオリジナル写真集をインターネットから24時間、いつでも注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- 写真集は、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。

マイカメラコンテンツのダウンロード(無料)

- マイカメラコンテンツをダウンロードし、カメラに登録できます。
- 多彩なコンテンツが用意されていますので、好きなものをダウンロードしてカメラに登録すれば、ご自分だけのオリジナルカメラをお楽しみいただけます。


























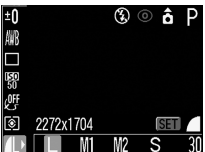
* 画面例はWindows XP用です。また、最新の画面表示と異なることがあります。

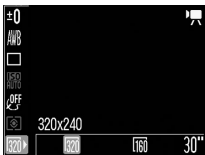






メニュー・メッセージ一覧

FUNC.(ファンクション)メニュー

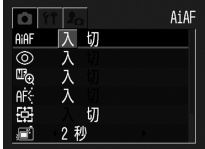

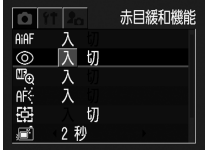
* 初期設定

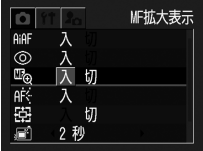

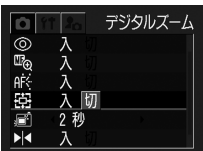
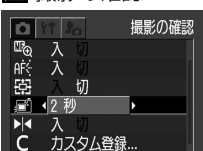
項目・画面	内容	参照ページ
露出補正 	露出を補正します。 ・ -2~0*~+2	99
ストロボ発光量 	モードダイヤルが M のときのストロボ発光量を設定します。 ・  FULL (1/3)* ・  FULL (2/3) ・  FULL (FULL)	111
ホワイトバランス 	ホワイトバランスを設定します。 ・ AWB (オート)* ・  (太陽光) ・  (くもり) ・  (電球) ・  (蛍光灯) ・  (蛍光灯H) ・  (マニュアル)	102
ドライブモード 	連続撮影やセルフタイマーを設定します。 ・  (通常撮影)* ・  (通常連続撮影) ・  (高速連続撮影) ・  (セルフタイマー10秒) ・  (セルフタイマー2秒)	80 84

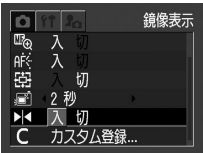
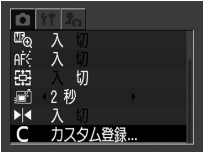
項目・画面	内容	参照 ページ
<p>ISO感度</p> 	<p>撮影感度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AUTO ・50* ・100 ・200 ・400 	109
<p>色効果</p> 	<p>色効果を切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF (効果切)* ・v (くっきりカラー) ・N (すっきりカラー) ・S (ソフト) ・S (セピア) ・BW (白黒) 	107
<p>測光方式</p> 	<p>測光方式を切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (評価測光)* ・ (中央部重点平均測光) ・ (スポット測光) 	97
<p>記録画素数</p> 	<p>画像の記録画素数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L ラージ (2272 × 1704画素)* ・M1 ミドル1 (1600 × 1200画素) ・M2 ミドル2 (1024 × 768画素) ・S スモール (640 × 480画素) 	60

項目・画面	内容	参照 ページ
記録画素数(動画) 	画像の記録画素数を設定します。 ・  (320 × 240画素)* ・  (160 × 120画素)	60
圧縮率 	画像の圧縮率を設定します。 ・  スーパーファイン ・  ファイン* ・  ノーマル	60

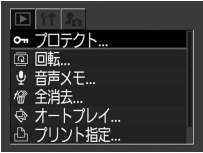
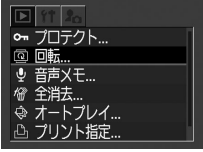
撮影メニュー





項目・画面	内容	参照 ページ
AiAF AiAF 	AF枠をカメラが自動的に選択して撮影するか、あらかじめ中央のAF枠に固定して撮影するかを設定します。 ・ 入* ・ 切	96
 赤目緩和機能 	ストロボ発光のときの赤目緩和ランプの発光の有無を設定します。 ・ 入* ・ 切	65


項目・画面	内容	参照 ページ
 <p>MF拡大表示</p> <p>入 入 入 入 入 2秒</p>	<p>マニュアルフォーカスのときの、拡大表示の有無を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入* ・切 	115
 <p>AF補助光</p> <p>入 入 入 入 入 2秒</p>	<p>AFのときに、必要に応じてAF補助光の発光を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入* ・切 	46
 <p>デジタルズーム</p> <p>入 入 入 入 入 2秒 入</p>	<p>光学ズームと合わせて、拡大するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入 ・切* 	82
 <p>撮影の確認</p> <p>入 入 入 2秒 入 入 カスタム登録...</p>	<p>撮影してシャッターボタンを離れたあと、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切 ・2*~10秒 	59

項目・画面	内容	参照 ページ
 <p>鏡像表示</p>	鏡像表示の設定を切り換えます。 ・入* ・切	35
 <p>カスタム登録</p>	撮影メニュー、ファンクションメニューで設定した内容をモードダイヤル上の C1 または C2 に登録します。	116



再生メニュー










項目・画面	内容	参照 ページ
 <p>プロテクト</p>	画像を消去できないようにプロテクトを設定します。	135
 <p>回転</p>	時計方向に90度、270度に回転して画像を表示します。	131


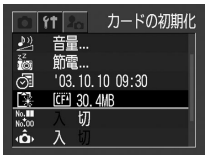


項目・画面	内容	参照 ページ
 <p>音声メモ</p>	<p>画像に音声を追加します。</p>	<p>132</p>
 <p>全消去</p>	<p>CFカードに記録されている画像をすべて消去します。(プロテクトされている画像を除く)</p>	<p>137</p>
 <p>オートプレイ</p>	<p>記録した画像を自動再生します。</p>	<p>134</p>
 <p>プリント指定</p>	<p>画像をカメラダイレクト対応プリンターまたはプリント取り扱い店でプリントするとき、プリントする画像の選択や枚数を指定します。</p>	<p>142</p>



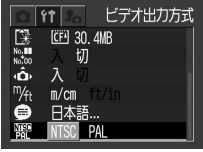
項目・画面	内容	参照 ページ
	パソコンに取り込む画像を、あらかじめカメラで指定します。	148

設定メニュー

項目・画面	内容	参照 ページ
	<p>シャッターボタンを押したときや、メニュー操作をしたときに、電子音を鳴らすかどうかを設定します。詳しくは「[[F1] (設定)]メニューの[消音]と、[[F2] (マイカメラ)]メニューの音の各設定について」(p. 181)をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入 ・切* <p>ただし、エラー時の警告音は、[入]にしても鳴ります。</p>	—
	<p>SET ボタンを押すと、起動音量、操作音量、セルフタイマー音、シャッター音量、再生音量を設定できます。ただし、[消音]が[入]のときは設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ □□□□ (切) ・ ■□□□ (1) ・ ■■□□ (2)* ・ ■■■□ (3) ・ ■■■■ (4) ・ ■■■■ (5) 	—

項目・画面	内容	参照 ページ
	<p> 起動音量 カメラ起動時の音量を調節します。</p> <p> 操作音量 シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。</p> <p> セルフタイマー音 撮影2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。</p> <p> シャッター音量 シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。</p> <p> 再生音量 動画再生時、音声メモの音量を調節します。</p>	<p>31</p> <p>—</p> <p>80</p> <p>44</p> <p>126 132</p>
<p> 節電</p> 	<p>SET ボタンを押すと、オートパワーオフとディスプレイオフを設定できます。</p> <p> オートパワーオフ 一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。 ・入* ・切</p> <p> ディスプレイオフ カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。 ・10秒 ・1分* ・20秒 ・2分 ・30秒 ・3分</p>	<p>32</p> <p>32</p> <p>32</p>

項目・画面	内容	参照 ページ
	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	26
	CFカードを初期化します。	138
	ファイル番号の付け方を設定します。 ・入 ・切*	120
	縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示するかどうかを設定します。 ・入* ・切	118

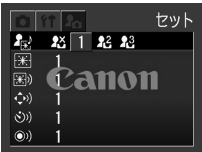

項目・画面	内容	参照 ページ
<p>距離表示</p> 	<p>MFインジケータの距離表示の単位を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ m/cm* ・ ft/in 	114
<p>言語</p> 	<p>液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ English ・ Italiano ・ Deutsch ・ Norsk ・ Français ・ Svenska ・ Nederlands ・ Español ・ Dansk ・ 汉语 ・ Suomi ・ 日本語* <p>画像の再生時に、SETボタンを押しながらMENUボタンを押しても、表示する言語を変更できます。</p>	29
<p>ビデオ出力方式</p> 	<p>ビデオ出力方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NTSC* ・ PAL 	155

マイカメラメニュー

このカメラでは、セット、起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を選べます。また各項目の [22]、[23]、には、CFカードに記録された画像や、新たに録音した音声をマイカメラコンテンツとして、その場ですぐにカメラに登録できます。

また同梱のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、CANON IMAGE GATEWAYから、同梱のソフトウェアを通じて、コンテンツをダウンロードし、登録することもできます。詳しくは、同梱のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

* 初期設定

項目・画面	内容	参照ページ
	起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に共通するテーマを選びます。*1 [22] (切) [1] * [22] [23]	157
	電源を入れたときの起動画面を選びます。 [22] (切) [1] * [22] [23]	157

項目・画面	内容	参照 ページ
<p> 起動音</p> 	<p>電源を入れたときの起動音を選びます。^{*1}</p> <p> (切)</p> <p> *</p> <p> </p> <p> </p>	157
<p> 操作音</p> 	<p>シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。^{*1}</p> <p> (切)</p> <p> *</p> <p> </p> <p> </p>	157
<p> セルフタイマー音</p> 	<p>セルフタイマー撮影で2秒前をお知らせする音を選びます。^{*1}</p> <p> (切)</p> <p> *</p> <p> </p> <p> </p>	157
<p> シャッター音</p> 	<p>シャッターを全押ししたときの音を選びます。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。^{*1}</p> <p> (切)</p> <p> *</p> <p> </p> <p> </p>	157

*1 **[設定]**メニューの**[消音]**と、**[マイカメラ]**メニューの音の各設定について

起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を消すときは、**[消音]**を**[入]**にします。**[消音]**を**[入]**にすると、音の各設定は**[1]**、**[2]**、**[3]**(入)になっていても、音は鳴りません。警告音は**[消音]**を**[入]**にしている場合でも、鳴ります。

設定を初期状態に戻す

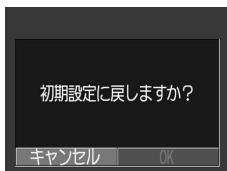
カメラの設定をすべて初期設定に戻します。

1 カメラの電源を入れる

- 撮影モード、再生モードのどちらでも構いません。

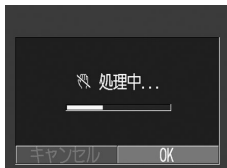
2 MENU ボタンを5秒以上押しつづける

- 液晶モニターに、「初期設定に戻しますか?」のメッセージが表示されます。



3 左/右ボタンで[OK]を選び、SET ボタンを押す

- 初期化中は下のような画面が表示され、初期化が終わると通常画面に戻ります。



- 初期設定に戻すのをやめるときは、[キャンセル]を選びます。



-
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
 - [11]メニューの[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]の設定(p. 177、178)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(p. 104)
 - 新しく登録したマイカメラコンテンツ(p. 160)
 - パソコン接続時、またはプリンター接続時は初期状態に戻せません。
-

メッセージ一覧

液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。

- プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中...	: 撮影した画像をCFカードに記録しています。再生モードを起動中です。
カードがありません	: CFカードがカメラに入っていないときに、撮影や再生をしようとした。
記録できません	: CFカードがカメラに入っていないのに撮影しようとした。
カードが異常です	: CFカードに異常があります。
カードがいっぱいです	: CFカードの容量いっぱい画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上プリント指定を保存できません。
ファイル名が作れません	: カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。撮影メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、CFカードを初期化してください。なお、初期化すると、CFカード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	: 電池の容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに4本ともすべて新しい単3形アルカリ電池(p. 20)に交換するか、充電された充電電池に交換してください。

画像がありません	: CFカードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	: 4064×3048画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしてしました。
互換性のないJPEGです	: 互換性のないJPEGフォーマットの画像を再生しようとしてしました。
データが壊れています	: データが破壊されている画像を再生しようとしてしました。
RAW	: RAW形式で記録された画像を再生しようとしてしました。
認識できない画像です	: 特殊なフォーマット(他社カメラ特有の記録フォーマットなど)で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしてしました。
拡大できない画像です	: 動画、別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を拡大しようとしてしました。
回転できない画像です	: 動画、別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしてしました。
互換性のないWAVEです	: 録音済みの音声メモの形式が正しくないので、この画像に追加録音できません。
登録できない画像です	: このカメラ以外で撮影した画像を起動画面に登録しようとしてしました。
プロテクトされています	: プロテクトされている画像を消去しようとしてしました。

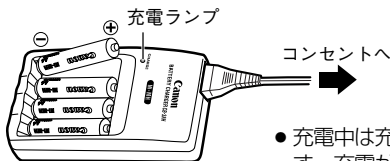
指定が多すぎます	: プリント指定、送信指定、オートプレイの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
指定できない画像です	: JPEG以外のファイルをプリント指定しようとしてしました。
Exx	: カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示される場合は、故障ですので「xx」の数値を控えサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う

(バッテリー/チャージャーキット CBK100)

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のようにバッテリーを充電してください。



- 充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。



- このバッテリーチャージャーでは、キヤノン単3形ニッケル水素電池以外の電池を充電しないでください。
- 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 容量を使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。液晶モニターに「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されるまで使い切ったあと、充電してください。
- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

- 電池の使用可能時間が著しく短いとき
- 記録画像数が著しく少ないとき
- 電池を充電するとき(さらに、電池の取り付けと取り外しを2~3回繰り返してから充電してください。)
- 電池の充電時間が数分程度で終了する(バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する)とき
- 電池の特性により、お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- フル充電の状態で長期間(1年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがありますので、カメラでバッテリーを使い切ってから常温(23℃以下)の涼しいところで保管することをおすすめします。また長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン単3形ニッケル水素電池(4本セット)をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。



- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約220分です(当社測定基準による)。0~35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。



Ni-MH

- ・この製品には、充電式のニッケル水素電池を使用しています。
- ・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ・ニッケル水素電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンのホームページで確認できます。
キヤノンサポートページ canon.jp/support/
- ・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- ・リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
(社)電池工業会 小形二次電池再資源化推進センター
及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*
* (社)電池工業会 電話番号 03-3434-0261

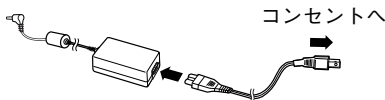
ACアダプターキット ACK600を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、コンピューターと接続するときは、ACアダプターキット ACK600(別売)のご利用をおすすめします。

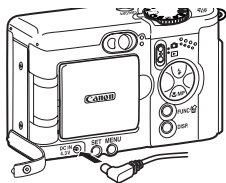


- コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、カメラの電源を切ってから行ってください。

1 コンパクトパワーアダプターに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



2 端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをカメラのDC IN端子に接続する



- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ACアダプターキット ACK600以外の電源キットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。

レンズ(別売)の使いかた

別売のワイドコンバーター WC-DC52、テレコンバーター TC-DC52A、クローズアップレンズ 250D(52mm)を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC52Dが必要です。



- ワイドコンバーター/テレコンバーター/クローズアップレンズを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター/テレコンバーター/クローズアップレンズは、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。失明の恐れがあります。



- ストロボを使用すると、画像の周辺部(特に画面右下)が暗くなります。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像がケラれることがあります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け(ケラレ)て見えます。

ワイドコンバーター WC-DC52

広角撮影するためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約0.7倍になります。(ねじ径52mm)



テレコンバーター TC-DC52A

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約1.75倍になります。(ねじ径 52mm)



クローズアップレンズ 250D(52mm)

簡単にマクロ撮影をするためのレンズです。マクロモードで、レンズ前面から被写体までが8cm~11cm(テレ端)の至近距離で撮影できます。





- ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

撮影範囲(マクロモード時)について

	レンズ前面から 被写体までの距離	撮影範囲
テレ端	8cm	45× 34mm
	11cm	55× 41mm
ワイド端	4cm	48× 36mm
	16cm	148× 111mm

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52D(52mm)

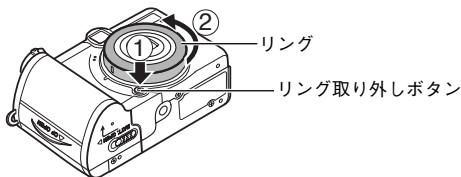
ワイドコンバーターやクローズアップレンズを取り付けるためのレンズアダプターです。



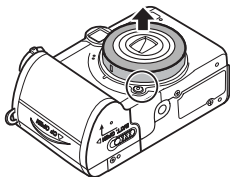
レンズを取り付ける

- 1 電源が切れていることを確認する

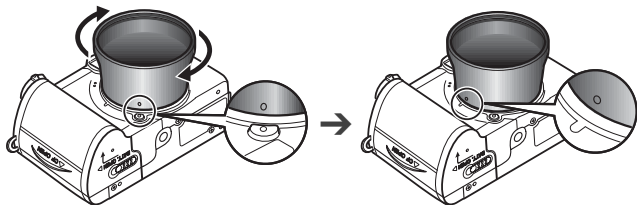
- 2** リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回す



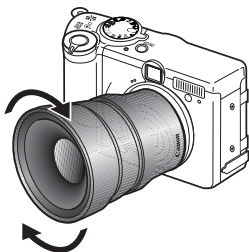
- 3** カメラの●とリングの■が合ったら、リングを上引き上げて外す



- 4** コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの●印に合わせてから、□印のところまで矢印の方向に回して取り付ける



5 レンズを矢印の方向に回して確実に取り付ける



- ご使用前には、レンズ面のゴミをブローブラシなどで完全に除去してください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまう。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け(ケラレ)て見えます。またファインダーでは、画角が確認できませんので、液晶モニターをお使いください。
- レンズを取り付けてで撮影した画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフト「PhotoStitch」で正しく合成できません。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。














テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では、日本国内で採用しているNTSC方式に設定されていますが、海外の別方式(PAL方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア(一部地域を除く))に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください(p. 178)。

電源について

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります(1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	 			  	 
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B, BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A, C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B, C
ポルトガル	B, C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B, C, BF

インドネシア	C
シンガポール	B, BF
スリランカ	B, C, BF
タイ	A, BF, C
大韓民国	A, C
中華人民共和国	A, B, BF, C, S
ネパール	C
パキスタン	B, C
バングラディッシュ	C
フィリピン	A, BF, S
ベトナム	A, C
香港特別行政区	B, BF
マカオ特別行政区	B, C
マレーシア	B, BF, C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF, C, S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B, C

ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A, C
ベネズエラ	A
ペルー	A, C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B, C
ヨルダン	B, BF

●アフリカ	
アルジェリア	A, B, BF, C
エジプト	B, BF, C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B, C
ザンビア	B, BF
タンザニア	B, BF
南アフリカ共和国	B, C, BF
モザンビーク	C
モロッコ	C



-
- ACアダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると故障のおそれがありますので使用しないでください。
 - このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。
-

カメラのお手入れ

カメラやレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

カメラ : やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ : 市販のプロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ったあと、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

- カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター(別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください)にご相談ください。

液晶モニター、ファインダー : 市販のプロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

- 液晶モニターの表面を強くこすったり、押ししたりすると、表面にキズがつきますので、ご注意ください。



- 絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

故障かなと思ったら



現象	原因	対処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●メインスイッチをしばらく押してください。
	バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーが開いています。	●バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください。
	電池の電圧が足りません。	●未使用の電池、または十分に充電した電池に4本とも交換してください。 ●AC電源を使用してください。
	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。 (アルカリ電池について (p. 21))
	カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	再生モードになっています。	●撮影モードにしてください。

現象	原因	対処
撮影ができない	ストロボが充電中です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電が完了すると、ランプが橙色に点灯しますので、シャッターボタンを押してください。
	CFカードの空き容量がありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいCFカードを入れてください。 ● 必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しく初期化されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ● CFカードを初期化してください。(CFカードを初期化する (p.138)) ● CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
レンズが出たまま収納されない	メインスイッチを入れたまま、バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを開けようとしてしまいました。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、メインスイッチを切ってください。
	CFカードへの記録中に、バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを開けようとしてしまいました。(警告音が鳴ります。)	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、メインスイッチを切ってください。

現象	原因	対処
電池の消耗が早い	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。 (アルカリ電池について (p. 21))
	周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	1年以上お使いにならなかったために、充電電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
	充電電池の寿命です。	●4本ともすべて新しい充電電池と交換してください。
別売のバッテリーチャージャーで充電できない	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	充電電池とバッテリーチャージャーの接触不良です。	●充電電池をバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ●電源ケーブルをバッテリーチャージャーのコネクターとコンセントにしっかりと差し込んでください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。

現象	原因	対処
充電できない	充電電池の寿命です。	●4本ともすべて新しい充電電池と交換してください。
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	●シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、オートフォーカスが機能していません。	●AF補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光投光の設定が[切]になっています。	●AF補助光投光の設定を[入]にしてください。 (p. 172)
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	●被写体から45cm以上離してください。 ●被写体から5~45cm (ワイド端) / 25~45cm (テレ端) の距離で撮影するときは、マクロモードで撮影してください。
	ピントが合いにくい被写体です	●フォーカスロックかマニュアルフォーカスで撮影してください。 (「ピントが合いにくい被写体を撮る」(p. 112))
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを常時発光にしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正值をプラス側に設定してください。またはスポット測光をお使いください。

現象	原因	対処
撮影した画像の被写体が暗すぎる	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から4.4m（ワイド端）/2.5m（テレ端）以内に近づけてください。
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎて、ストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から25cm以上離してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください。またはスポット測光をお使いください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	●ストロボを常時発光以外にしてください。
液晶モニター上に縦に赤紫などの帯が表示される	被写体が極端に明るすぎます。	●CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません。（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。 特に以下の条件で目立ちやすくなります。 - ワイド側で撮影した場合 - 絞り優先AEで絞り数値を大きくして撮影した場合	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

現象	原因	対処
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	●ストロボを発光禁止以外にしてください。
テレビに出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	●正しいビデオ出力形式（NTSCまたはPAL）に合わせてください。 ●日本国内の出力形式は、「NTSC」です。
	撮影モードダイヤルが  （スティッチアシスト）になっています。	●撮影モードダイヤルを  以外にしてください。
ズームの操作ができない	動画撮影中にズームレバーを操作しました。	●動画を撮影する前にズームを操作してください。
CFカードからの画像の読み出しが遅い	違う機器で初期化したCFカードが入っています。	●このカメラで初期化したCFカードをお使いください。（「CFカードを初期化する」（p. 138））
CFカードへの画像の記録時間が長い		

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A80

カメラ部有効画素数	: 約400万画素
撮像素子	: 1/1.8型CCD (総画素数 約410万画素)
レンズ	: 7.8(W)-23.4(T)mm、F2.8(W)-4.9(T) (35mmフィルム換算 38(W)-114(T)mm)
デジタルズーム	: 約3.6倍 (光学ズームと合わせて最大約11倍のズームが可能)
光学ファインダー	: 実像式ズームファインダー
液晶モニター	: 1.5型アモルファスTFT 液晶カラーモニター 約6.7万画素、視野率約100%
AF方式	: TTLオートフォーカス AFロックおよびマニュアルフォーカス可能 測距枠: 9点(AiAF)/1点(AF)(1点時の測距枠: 中央固定)
撮影距離	: 通常撮影: 45cm~∞ マクロ撮影: 5~45cm(W)/25~45cm(T) マニュアルフォーカス撮影: 5cm~∞(W)/25cm~∞(T)
シャッター	: メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッター スピード	: 15~1/2000秒 ・15~1.3秒はシャッタースピード優先モードまたはマニュアルモード時のみ ・1.3秒を超えてからノイズリダクション処理あり
測光方式	: 評価測光(測距点に連動)/ 中央部重点平均測光 / スポット測光
露出制御方式	: プログラムAE/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/ マニュアル露出
露出補正	: ±2段(1/3段ステップ)
感度	: オート / ISO 50 / 100 / 200 / 400 相当
ホワイトバランス	: TTL オートホワイトバランス / プリセットホワイトバランス(太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H) / マニュアルホワイトバランス

内蔵ストロボ	: オート* / 常時発光* / 発光禁止 * 赤目緩和設定可能
内蔵ストロボ 撮影範囲	: 通常撮影 : 45cm~4.4m(W) / 45cm~2.5m(T) マクロ撮影 : 25~45cm(W/T)
撮影モード	: オート クリエイティブゾーン: プログラム / シャッタースピード 優先 / 絞り優先 / マニュアル / カスタム1 / カスタム2 イメージゾーン: ポートレート / 風景 / 夜景 / 高速シャッター / スローシャッター / スティッチアシスト / 動画
連続撮影	高速連続撮影: 約2.4画像 / 秒 通常連続撮影: 約1.6画像 / 秒 (ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき)
セルフタイマー	: 約2秒 / 約10秒後に撮影
パソコン接続撮影	: USB接続時、同梱のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	: コンパクトフラッシュカード (Type I)
画像ファイル フォーマット	: DCF準拠 ^(注1) 、DPOF対応
画像記録 フォーマット	(静止画) : JPEG (Exif 2.2) ^(注2) (動画) : AVI (画像データ: Motion JPEG / 音声データ : WAVE(モノラル))
圧縮率	: スーパーファイン/ファイン/ノーマル
記録画素数	(静止画) : ラージ : 2272 × 1704画素 ミドル1 : 1600 × 1200画素 ミドル2 : 1024 × 768画素 スモール : 640 × 480画素 (動画) : 320 × 240画素(約3分)* 160 × 120画素(約3分)* 約15フレーム/秒 *()内は1回の撮影での最長時間です。

再生モード	: シングル再生(ヒストグラム表示可能) / インデックス再生(サムネイル9画像) / 拡大再生(液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能) / オートプレイ / 音声メモ(最長約60秒まで記録可能) / 専用プリンター(CP-300、CP-200、CP-100、CP-10)への画像出力、BJプリンタへの画像出力(ダイレクトプリント)
表示言語	: 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / オランダ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / イタリア語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / スペイン語 / 中国語
マイカメラ (カスタマイズ)機能	: 起動画面 / 起動音 / シャッター音 / 操作音 / セルフタイマー音が、以下の方法で設定が可能。 <ol style="list-style-type: none"> 1. このカメラで記録 2. 同梱のソフトウェアやオンラインフォトサービス「CANON iIMAGE GATEWAY」からダウンロード
CANON iIMAGE GATEWAY 対応機能	: 同梱のソフトウェアを使って、CANON iIMAGE GATEWAYの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	: USB (mini-B、PTP [Picture Transfer Protocol]) 映像 / 音声出力端子(NTSCまたはPAL切替可能、モノラル音声)
電源	: 単3形アルカリ電池(同梱) 単3形充電式ニッケル水素電池(別売) ACアダプターキット ACK600(別売)
動作温度	: 0~40℃
動作湿度	: 10~90%
大きさ (幅×高さ×奥行き)	: 103.1×64.6×34.7mm(突起部を除く)
質量	: 約250 g (本体のみ)

(W) : ワイド端 (T) : テレ端

注1: DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を関連機器で簡単に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

注2: このデジタルカメラは、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影時画像数		再生時間
	液晶モニター表示時	液晶モニター非表示時	
単3形アルカリ電池 (同梱品)	約250画像	約800画像	約280分
単3形ニッケル水素 電池(NB-1AH)	約350画像	約1000画像	約280分

* 上記データは当社測定条件によるもので、撮影状況、撮影モードなどによっても異なります。








<測定条件>






撮影: 常温(23℃)、20秒間隔でワイド端とテレ端撮影を交互に繰り返し、4回に1回ストロボ使用、8回に1回電源をOFF/ON操作

再生: 常温(23℃)、1画像あたり3秒間隔で連続再生

- 電池の取り扱いについて(p. 21、187)

CFカードの種類と記録画像数の目安

		FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M	FC-256MH
L		7	14	30	61	123
		13	27	54	110	222
		26	54	110	220	443
M1		14	30	61	122	246
		26	54	109	219	440
		52	108	217	435	868
M2		25	53	107	215	431
		46	94	189	379	762
		84	174	349	700	1390
S		58	120	241	482	962
		94	196	393	788	1563
		165	337	676	1355	2720
動画		44秒	91秒	183秒	368秒	735秒
		118秒	242秒	486秒	973秒	1954秒

- 動画の1回の最長撮影時間は、約3分です。表中の数値は繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。
-  (スーパーファイン)、 (ファイン)、 (ノーマル)は、圧縮率を表します。
- **L**(ラージ)、**M1**(ミドル1)、**M2**(ミドル2)、**S**(スモール)、、は、記録画素数を表します。

1画像の容量(目安)

				
L	(2272 × 1704画素)	2002KB	1116KB	556KB
M1	(1600 × 1200画素)	1002KB	558KB	278KB
M2	(1024 × 768画素)	570KB	320KB	170KB
S	(640 × 480画素)	249KB	150KB	84KB
動画	 (320 × 240画素)	330 KB/秒		
	 (160 × 120画素)	120 KB/秒		

ニッケル水素電池 NB-1AH

(別売のニッケル水素電池 NB4-100 またはバッテリー/チャージャーキット CBK100 に同梱)

形式	単3形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	1600mAh (最小: 1550mAh)
充放電回数	約300回(目安)
動作温度	0~35℃
大きさ	直径: 14.5mm 長さ: 50mm
質量	約27g

バッテリーチャージャー CB-3AH

(別売のバッテリー/チャージャーキット CBK100 に同梱)

定格入力	AC100~240V(50/60Hz)/14VA
定格出力	DC1.6V/2A
充電時間	約220分*
動作温度	0~35℃
大きさ	113X74X27.5mm
質量(本体のみ)	約100g

*NB-1AH 4本の充電時間

コンパクトパワーアダプター CA-PS500

(別売のACアダプターキット ACK600 に同梱)

定格入力	AC100~240V (50/60Hz)/16VA(100V)~26VA(240V)
定格出力	DC4.3V/1.5A
動作温度	0~40℃
大きさ	42.5X104.4X31.4mm
質量(本体のみ)	約180g

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	Type I
大きさ	36.4X42.8X3.3mm
質量	約10g

ワイドコンバーター WC-DC52(別売)

倍率	約0.7倍 (35mmフィルム換算で26.6mm相当<ワイド端>)
撮影距離(レンズ先端より)	約0.5cm~∞(ワイド端:PowerShot A80装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A80に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52Dが必要)
大きさ	直径: 55.7mm 長さ: 23.7mm
質量	約74g

テレコンバーター TC-DC52A(別売)

倍率	約1.75倍 (35mmフィルム換算で200mm相当<テレ端>)
撮影距離(レンズ先端より)	約2.2m~∞(テレ端:PowerShot A80装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A80に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52Dが必要)
大きさ	直径: 55.2mm 長さ: 49.3mm
質量	約77g

クローズアップレンズ 250D 52mm(別売)

焦点距離	250mm
撮影距離(レンズ先端より)	4~25cm(W)/8~25cm(T)(PowerShot A80装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A80に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52Dが必要)
大きさ	直径: 54mm 長さ: 10.2mm
質量	約55g

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52D(別売)

ねじ径	52mm標準フィルターネジ
大きさ	直径: 55.6mm 長さ: 28.7mm
質量(本体のみ)	約11g

索引

数字・アルファベット

AF補助光	46
AF補助光投光部	16
A/V OUT端子	155
CANON iMAGE GATEWAY	165
CFカード	24
CFカードについて	25
CFカードリーダー	154
入れる	24
画像を取り込む	150
記録画像数の目安	210
種類	210
初期化	138
スロットカバー	17, 24
DC IN端子	17, 190
DIGITAL端子	16
ISO感度	109

ア 行

赤目緩和機能	65
赤目緩和ランプ	65
圧縮率	60
色効果	107
液晶モニター	34
オートフォーカス	42
オートフォーカス枠(AF枠)	38, 57, 96
オートプレイ	134
お手入れ	199
音声メモ	132
オンラインサービス	165

カ 行

海外の電源コンセント	196
回転して表示	131
画角	43
各部の名称	16
カスタム登録	116
画像番号	40
機能一覧	218

記録画素数	60
記録可能画像数	38, 210
言語	29
広角	43

サ 行

再生	122
1画像ずつ	122
9画像ずつ	124
インデックス再生	124
回転	131
拡大	123
確認時間を変更	59
撮影直後に画像を確認	58
自動再生	134
シングル再生	122
動画	126
撮影	56
応用撮影	86
簡単撮影	56
機能一覧	218
撮影日時	40
撮影モード	218
撮影モードダイヤル	19
三脚ねじ穴	17
至近距離	78
時刻	26
絞り数値	38, 91, 94
シャッタースピード	38, 88, 94
シャッターボタン	44
消去	136
1画像ずつ	136
全画像	137
初期状態に戻す	182
初期設定	52
ズーム	43, 82
ズームレバー	43, 82, 123, 124, 125
スティッチアシスト	72
撮影する	73

被写体のとらえ方	72
ストラップ	17
ストロボ	64
ストロボ発光量	111
スピーカー	16
設定	26, 29
言語	29
時刻	26
初期状態に戻す	182
日付	26
設定項目	52
節電機能	32
セルフタイマー	80
送信設定	148
画像を選ぶ	148
設定をリセット	148
測光方式	97
スポット測光	97
中央部重点平均測光	97
評価測光	97

タ 行

縦横自動回転	118
端子カバー	16
デジタルズーム	43, 82
テレビを使って再生	155
テレビを使って撮影	155
電源	31
AC電源	190
充電式バッテリー	187
電源キット	190
電池	20
入れる	20
交換	23
残量	23
充電式バッテリー	187
使用できる電池	21
電池性能	209
取り扱い	21

動画	76, 126
編集	128
動画記録可能時間	38, 210
動画記録時間	40

八 行

パソコンへの画像の取り込み	150
CFカードから	154
カメラとパソコンを接続	150
バッテリーカバー	17, 20
日付	26
ファイル番号	40, 120
リセット	120
ファインダー	42
オートフォーカス範囲	42
フォーカスロック	112
プリント	140
DPOFのプリント指定	142
画像を選ぶ	142
設定	145
設定をリセット	147
プリントスタイル	145
プログラムAE	86
プロテクト	135
望遠	43
ホワイトバランス	102

マ 行

マイカメラコンテンツ	157
マイク	16
マクロ	78
マニュアルフォーカス	114
メインスイッチ	16, 31
メニュー	47
再生メニュー	173
撮影メニュー	171
設定メニュー	175
ファンクションメニュー	169
マイカメラメニュー	179

ラ 行

ランプ	18
リング取り外しボタン	16, 194
レンズ	16, 191
クローズアップレンズ	192
コンバージョンレンズアダプター	193
テレコンバーター	192
ワイドコンバーター	192
連続撮影	84
露出補正	99

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。




- ①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
- ④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- CanonおよびPowerShot、BJIは、キヤノン株式会社の商標です。
- CANON iMAGE GATEWAY および iMAGE GATEWAY は、日本国内において商標登録出願中です。
- CompactFlash(コンパクトフラッシュ)は、SanDisk Corporationの商標です。
- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- iBookおよびiMac、Quick Timeは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintoshは、米国および他の国に登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は以下のとおりです。
C1、C2のときは、登録時に設定した内容で撮影できます
(p. 116)。

記録画素数	ラージ	L	○*	○*	○*	○*	○*
	ミドル1	M1	○	○	○	○	○
	ミドル2	M2	○	○	○	○	○
	スモール	S	○	○	○	○	○
記録画素数	動画		—	—	—	—	—
	動画		—	—	—	—	—
圧縮率	スーパーファイン		○	○	○	○	○
	ファイン		○*	○*	○*	○*	○*
	ノーマル		○	○	○	○	○
ストロボ	オート		○*	○*	○	○*	○*
	常時発光		—	○	○	○	○
	発光禁止		○	○	○*	○	○
赤目緩和			○	○	○	○	○
ストロボ発光量			—	—	—	—	—
AF補助光			○	○	○	○	○
ドライブモード	シングル撮影		○*	○*	○*	○*	○*
	通常連続撮影		—	○	○	○	○
	高速連続撮影		—	○	○	○	○
	10秒セルフタイマー		○	○	○	○	○
	2秒セルフタイマー		○	○	○	○	○
AF方式の選択			—	○	○	○	○
マニュアルフォーカス			—	○	○	○	○
マクロ撮影			○	○	—	○	○

			P	Tv	Av	M	参照ページ
○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	60
○	△	—	○	○	○	○	
○	△	—	○	○	○	○	
○	△	—	○	○	○	○	
—	—	○*	—	—	—	—	
—	—	○	—	—	—	—	
○	△	—	○	○	○	○	60
○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	
○	△	—	○	○	○	○	64
○	—	—	○	—	—	—	
○	△	—	○	○	○	○	
○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	65
○	△	—	○	○	○	○	
—	—	—	—	—	—	○	111
○	△	○	○	○	○	○	46
○*	△*	○*	○*	○*	○*	○*	—
○	—	—	○	○	○	○	84
○	—	—	○	○	○	○	
○	△	○	○	○	○	○	80
○	△	○	○	○	○	○	
○	—	—	○	○	○	○	96
○	—	○	○	○	○	○	114
○	△	○	○	○	○	○	78

		AUTO				
デジタルズーム	入	○	○	○	○	○
	切	○*	○*	○*	○*	○*
露出補正		—	○	○	○	○
測光方式	評価測光	○	○	○	○	○
	中央部重点平均測光	—	—	—	—	—
	スポット測光	—	—	—	—	—
ホワイトバランス ⁽¹⁾	WB	— ⁽²⁾	○	○	○	○
色効果		—	○	○	○	○
ISO感度	ISO	— ⁽³⁾	— ⁽³⁾	— ⁽³⁾	— ⁽³⁾	— ⁽³⁾
縦横自動回転	入	○	○	○	○	○
	切	○	○	○	○	○

*初期設定 ○:設定可 △:最初の1画像のみ設定可 —:設定不可
:電源を切っても、解除されません。

[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻すことができます(p. 182)。

- (1) 色効果が[セピア]、[白黒]の場合は設定できません。
- (2) ホワイトバランスは[オート]に設定されます。
- (3) カメラが自動的に設定します。
- (4) ISO[AUTO]は設定できません。